

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文B	4	高校2年1組～5組

使用教科書	副教材
『高等学校 現代文B』第一学習社	『現代文解放のテクニック』啓隆社 『入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP2500 改訂版』いっぴいな書店

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・近代以降の様々な文章にふれ、読解力を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。 ・問題演習を通し、基礎力の充実から応用力へのステップアップを図る。
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手に分かるように伝えようとしているか。また、人の意見を的確に聞き取れているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書けるか。	自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。様々な文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしているか。	語彙を増やし、知見を自分のものどできたか。また、筆者の主張を十分に理解した上で、批判的に読むことができたか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策	「基礎学力到達度テスト」過去問題を用いた、オンライン授業(問題演習・解答・採点・解説動画) ・基本的な解法と知識を強化する。 ・正答率の低い問題を中心に、動画(YouTube)での解説を参考に理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出状況・内容～5月末日まで ・授業への取り組み(態度・発言・予習)～6月以降
	5	評論「自他の『間あい』」(鷺田清一)	論理構成を正しくつかむ。 身体論に関する基本的な考え方を学ぶ。 アイデンティティの形成について新しい視点を獲得する。 ・動画(YouTube)を視聴しながら、理解を深める。	
		問題演習	空欄補充(接続後・語句)の基礎的な方法を学ぶ。 ・『解法のテクニック』1・2	
	6	小説「山月記」(中島敦)	語彙的な障害を取り除く。 漢文・漢詩の知識を確認する。 登場人物、とくに李徴の心理と、ものがたりの展開との関連について学ぶ。 中島敦に関する基礎知識を学ぶことによって読書の幅を広げる。	
7	評論「『私』中心の日本語」	人称を通して、日本語と日本人の特質について学ぶ。 言語と「ものの見方」との関係について理解を深める。	期末テスト	
	問題演習	指示語・内容説明の基礎的な方法を学ぶ。 ・『解法のテクニック』3・4		
2	9	評論「消費社会とは何か」(國分功一郎)	「消費」と「浪費」との違いについて理解し、現代社会を支える基本的な消費構造について学ぶ。 筆者の論理展開を正確に把握し、構造的な読解力を養う。	

2	9	詩「永訣の朝」 (宮沢賢治)	詩の精緻な読みを通じて、恣意に陥らない正確な読解力を養う。 宮沢賢治とその作品に関する知識を増やす。 詩の表現技法について学ぶ。	中間試験
		問題演習	理由説明・脱文挿入の基礎的な方法を学ぶ。 ・『解法のテクニック』5・6	
	10	小説「こころ」 (夏目漱石)	「関係」によって揺れ動く登場人物の心理を、場面に従って正確に読み取る。 漱石に関する文学史上の知識を増やす。 明治期の言葉の、現代とは異なる意味用法を学ぶ。	
	11	評論『『集合知』という考え方』 (西垣 通)	プロフェッショナルの専門知と、アマチュアの集合知との違いについて理解する。 「情報化時代」を深く理解することによって、基本的な考えを身につける。	
3	12	問題演習	話題・段落構成把握の基礎的な方法を学ぶ。 ・『解法のテクニック』7・8	期末試験
	1	評論「動的平衡」 (福岡伸一)	「生命」にまつわる基本的な考え方が、時代とともにどう変化してきたかを理解する。 シェーンハイマーの動的平衡論についての理解を深めることによって、パラダイム転換と多角的なものの見方を養う。	学年末試験
	2	実用の文章「ノーベル賞 vs. イグ・ノーベル賞」(竹内 薫)	「事実」を伝えるための文章の基本と、取材方法についての基礎を学ぶ。 文章作成上の「事実」と「意見」との峻別を身につけさせる。	
	3	問題演習	筆者の主張・要約の基礎的なまとめ方を学ぶ。 ・『解法のテクニック』9・10	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文B	4	高校2年9組

使用教科書	副教材
『高等学校 現代文B』第一学習社	『ベーシックマスター現代文』Z会 『入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP2500 改訂版』いっぴいな書店

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・近代以降の様々な文章にふれ、読解力を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。 ・問題演習を通し、基礎力の充実から応用力へのステップアップを図る。
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手に分かるように伝えようとしているか。また、人の意見を的確に聞き取れているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書けるか。	自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。様々な文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしているか。	語彙を増やし、知見を自分のものとしたか。また、筆者の主張を十分に理解した上で、批判的に読むことができたか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策	「基礎学力到達度テスト」過去問題を用いた、オンライン授業(問題演習・解答・採点・解説動画) ・基本的な解法と知識を強化する。 ・正答率の低い問題を中心に、動画(YouTube)での解説を参考に理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出状況・内容～5月末日まで ・授業への取り組み(態度・発言・予習)～6月以降
	5	評論「自他の『間あい』」(鷲田清一)	論理構成を正しくつかむ。 身体論に関する基本的な考え方を学ぶ。 アイデンティティの形成について新しい視点を獲得する。 ・動画(YouTube)を視聴しながら、理解を深める。	
	6	小説「山月記」(中島敦)	語彙的な障害を取り除く。 漢文・漢詩の知識を確認する。 登場人物、とくに李徴の心理と、ものがたりの展開との関連について学ぶ。 中島敦に関する基礎知識を学ぶことによって読書の幅を広げる。	
	7	評論「日本人の『自然』」(木村 敏) 問題演習	英語との比較、また上代・中世と現代との比較を通じて、日本人と自然との関係を理解する。 段落構成について学ぶ。 論理的文章の読解力を高める。 ・『ベーシックマスター』論理的文章1・2	
2	9	評論「『私』中心の日本語」	人称を通して、日本語と日本人の特質について学ぶ。 言語と「ものの見方」との関係について理解を深める。 論理的文章の読解力を高める。 ・『ベーシックマスター』論理的文章3・4	期末テスト

2		評論「消費社会とは何か」(國分功一郎)	「消費」と「浪費」との違いについて理解し、現代社会を支える基本的な消費構造について学ぶ。 筆者の論理展開を正確に把握し、構造的な読解力を養う。	中間試験
	10	詩「永訣の朝」(宮沢賢治)	詩の精緻な読みを通じて、恣意に陥らない正確な読解力を養う。 宮沢賢治とその作品に関する知識を増やす。 詩の表現技法について学ぶ。	
		問題演習	論理的文章の読解力を高める。 ・『ベーシックマスター』論理的文章5・6	
3	11	小説「こころ」(夏目漱石)	「関係」によって揺れ動く登場人物の心理を、場面に従って正確に読み取る。 漱石に関する文学史上の知識を増やす。 明治期の言葉の、現代とは異なる意味用法を学ぶ。	期末試験
	12	評論「『集合知』という考え方」(西垣 通)	プロフェッショナルの専門知と、アマチュアの集合知との違いについて理解する。 「情報化時代」を深く理解することによって、基本的な考えを身につける。	
	1	問題演習	論理的文章の読解力を高める。 ・『ベーシックマスター』論理的文章7・8	
	2	評論「動的平衡」(福岡伸一)	「生命」にまつわる基本的な考え方が、時代とともにどう変化してきたかを理解する。 シェーンハイマーの動的平衡論についての理解を深めることによって、パラダイム転換と多角的なものを見方を養う。	
		実用文章「ノーベル賞 vs. イグ・ノーベル賞」(竹内 薫)	「事実」を伝えるための文章の基本と、取材方法についての基礎を学ぶ。 文章作成上の「事実」と「意見」との峻別を身につけさせる。	
	3	問題演習	文学的文章の読解力を高める。 ・『ベーシックマスター』文学的文章1・2・3・4	学年末試験

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文B	3	高校2年6組～8組

使用教科書	副教材
『高等学校 現代文B』第一学習社	『現代文解放のテクニック』啓隆社 『入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP2500 改訂版』いっぴいな書店

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・近代以降の様々な文章にふれ、読解力を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。 ・問題演習を通し、基礎力の充実から応用力へのステップアップを図る。
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手に分かるように伝えようとしているか。また、人の意見を的確に聞き取れているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書けるか。	自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。様々な文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしているか。	語彙を増やし、知見を自分のものどできたか。また、筆者の主張を十分に理解した上で、批判的に読むことができたか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策	「基礎学力到達度テスト」過去問題を用いた、オンライン授業(問題演習・解答・採点・解説動画) ・基本的な解法と知識を強化する。 ・正答率の低い問題を中心に、動画(YouTube)での解説を参考に理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出状況・内容～5月末日まで ・授業への取り組み(態度・発言・予習)～6月以降 期末テスト
	5	評論「自他の『間あい』」(鷲田清一)	論理構成を正しくつかむ。 身体論に関する基本的な考え方を学ぶ。 アイデンティティの形成について新しい視点を獲得する。 ・動画(YouTube)を視聴しながら、理解を深める。	
		問題演習	空欄補充(接続後・語句)の基礎的な方法を学ぶ。 ・『解法のテクニック』1・2	
	6	小説「山月記」(中島敦)	語彙的な障害を取り除く。 漢文・漢詩の知識を確認する。 登場人物、とくに李徴の心理と、ものがたりの展開との関連について学ぶ。 中島敦に関する基礎知識を学ぶことによって読書の幅を広げる。	
7	評論「『私』中心の日本語」	人称を通して、日本語と日本人の特質について学ぶ。 言語と「ものの見方」との関係について理解を深める。		
	問題演習	指示語・内容説明の基礎的な方法を学ぶ。 ・『解法のテクニック』3・4		
2	9	評論「消費社会とは何か」(國分功一郎)	「消費」と「浪費」との違いについて理解し、現代社会を支える基本的な消費構造について学ぶ。 筆者の論理展開を正確に把握し、構造的な読解力を養う。	

2	9	詩「永訣の朝」 (宮沢賢治)	詩の精緻な読みを通じて、恣意に陥らない正確な読解力を養う。 宮沢賢治とその作品に関する知識を増やす。 詩の表現技法について学ぶ。	中間試験
		問題演習	理由説明・脱文挿入の基礎的な方法を学ぶ。 ・『解法のテクニック』5・6	
	10	小説「こころ」 (夏目漱石)	「関係」によって揺れ動く登場人物の心理を、場面に従って正確に読み取る。 漱石に関する文学史上の知識を増やす。 明治期の言葉の、現代とは異なる意味用法を学ぶ。	
	11	評論『『集合知』という考え方』 (西垣 通)	プロフェッショナルの専門知と、アマチュアの集合知との違いについて理解する。 「情報化時代」を深く理解することによって、基本的な考えを身につける。	
3	12	問題演習	話題・段落構成把握の基礎的な方法を学ぶ。 ・『解法のテクニック』7・8	期末試験
	1	評論「動的平衡」 (福岡伸一)	「生命」にまつわる基本的な考え方が、時代とともにどう変化してきたかを理解する。 シェーンハイマーの動的平衡論についての理解を深めることによって、パラダイム転換と多角的なものの見方を養う。	学年末試験
	2	実用の文章「ノーベル賞 vs. イグ・ノーベル賞」(竹内 薫)	「事実」を伝えるための文章の基本と、取材方法についての基礎を学ぶ。 文章作成上の「事実」と「意見」との峻別を身につけさせる。	
	3	問題演習	筆者の主張・要約の基礎的なまとめ方を学ぶ。 ・『解法のテクニック』9・10	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文B	3	高校2年11組

使用教科書	副教材
『高等学校 現代文B』第一学習社	『ベーシックマスター現代文』Z会 『入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP2500 改訂版』いっぴいな書店

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・近代以降の様々な文章にふれ、読解力を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。 ・問題演習を通し、基礎力の充実から応用力へのステップアップを図る。
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手に分かるように伝えようとしているか。また、人の意見を的確に聞き取れているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書けるか。	自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。様々な文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしているか。	語彙を増やし、知見を自分のものどできたか。また、筆者の主張を十分に理解した上で、批判的に読むことができたか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎学力到達度テスト対策	「基礎学力到達度テスト」過去問題を用いた、オンライン授業(問題演習・解答・採点・解説動画) ・基本的な解法と知識を強化する。 ・正答率の低い問題を中心に、動画(YouTube)での解説を参考に理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出状況・内容～5月末日まで ・授業への取り組み(態度・発言・予習)～6月以降
	5	評論「自他の『間あい』」(鷲田清一)	論理構成を正しくつかむ。 身体論に関する基本的な考え方を学ぶ。 アイデンティティの形成について新しい視点を獲得する。 ・動画(YouTube)を視聴しながら、理解を深める。	
	6	小説「山月記」(中島敦)	語彙的な障害を取り除く。 漢文・漢詩の知識を確認する。 登場人物、とくに李徴の心理と、ものがたりの展開との関連について学ぶ。 中島敦に関する基礎知識を学ぶことによって読書の幅を広げる。	
	7	評論「日本人の『自然』」(木村 敏) 問題演習	英語との比較、また上代・中世と現代との比較を通じて、日本人と自然との関係を理解する。 段落構成について学ぶ。 論理的文章の読解力を高める。 ・『ベーシックマスター』論理的文章1・2	
2	9	評論「『私』中心の日本語」	人称を通して、日本語と日本人の特質について学ぶ。 言語と「ものの見方」との関係について理解を深める。 論理的文章の読解力を高める。 ・『ベーシックマスター』論理的文章3・4	期末テスト

2		評論「消費社会とは何か」(國分功一郎)	「消費」と「浪費」との違いについて理解し、現代社会を支える基本的な消費構造について学ぶ。 筆者の論理展開を正確に把握し、構造的な読解力を養う。	中間試験
	10	詩「永訣の朝」(宮沢賢治)	詩の精緻な読みを通じて、恣意に陥らない正確な読解力を養う。 宮沢賢治とその作品に関する知識を増やす。 詩の表現技法について学ぶ。	
		問題演習	論理的文章の読解力を高める。 ・『ベーシックマスター』論理的文章5・6	
3	11	小説「こころ」(夏目漱石)	「関係」によって揺れ動く登場人物の心理を、場面に従って正確に読み取る。 漱石に関する文学史上の知識を増やす。 明治期の言葉の、現代とは異なる意味用法を学ぶ。	期末試験
	12	評論「『集合知』という考え方」(西垣 通)	プロフェッショナルの専門知と、アマチュアの集合知との違いについて理解する。 「情報化時代」を深く理解することによって、基本的な考えを身につける。	
	1	問題演習	論理的文章の読解力を高める。 ・『ベーシックマスター』論理的文章7・8	
	2	評論「動的平衡」(福岡伸一)	「生命」にまつわる基本的な考え方が、時代とともにどう変化してきたかを理解する。 シェーンハイマーの動的平衡論についての理解を深めることによって、パラダイム転換と多角的なものを見方を養う。	
	3	実用の文章「ノーベル賞 vs. イグ・ノーベル賞」(竹内 薫)	「事実」を伝えるための文章の基本と、取材方法についての基礎を学ぶ。 文章作成上の「事実」と「意見」との峻別を身につけさせる。	
		問題演習	文学的文章の読解力を高める。 ・『ベーシックマスター』文学的文章1・2・3・4	学年末試験

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典B	4	2年1組～5組

使用教科書	副教材
古典B (教育出版)	東京書籍『新精選 古典文法 改訂版』・東京書籍『新精選古典文法準拠ノート』・数研出版『力をつける古典』・尚文出版『新明説漢文』・尚文出版『新明説漢文基本練習ノート』・尚文出版『古文単語301』

1. 学習の目標

<p>1, 古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典に親しむことによって教養を身に付け、人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>2, 古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢文から受けた影響を知り、双方をより深く理解する。</p>
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。古典を通して人間や社会に対する考えを深めようとしているか。	自分の考えをまとめて相手に分かるように伝えようとしているか。また、人の意見を聞き、理解しようとしているか。	課題に積極的に取り組み、自ら調べたことや考えたことを文章にまとめることができるか。	教材をきちんと読んで的確な読解ができるか。また、古文・漢文の文体を味わい、音読ができるか。	語句の意味・用法、文法、作品の背景となる事柄などについて、的確な知識を身に付け、古典作品の読解に活かしているか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト対策	古典の学習目標、学習方法、ノートのとり方など 基礎学力到達度テスト対策として、過去問題を解き、問題に慣れる。	定期試験の成績 小テストの成績 提出物 授業中の態度・発言
	5	古文 『沙石集』 児の知恵	説話のおもしろさと敬語を学ぶ。 1年次の文法の復習。	
		漢文 「故事成語」 漱石枕流・梁上君子	基本的な訓読の復習。 故事成語の意味と日本文学との関係を学ぶ。 否定・使役などの句法について学習する。	
	6	問題集『力をつける古典』 1・2・16・17	古文・漢文の問題に慣れる。	
	7	古文 『枕草子』中納言参り給ひて 『更級日記』源氏の五十余巻	登場人物に注意し、主語を明らかにして読解する。 敬語についての理解を深める。 日記文学について知識を深める。 源氏物語の、後代の文学への影響を学ぶ。	
		漢文 『春夜宴桃李園序』	作者の人生観を読み取る。 構成や展開に即して内容を読解する。 疑問・抑揚・反語・仮定などの句法について学習する。	
		問題集『力をつける古典』 3・4・18・19 (夏期休暇中の課題) 問題集『力をつける古典』 5～7・20～22	古文・漢文の問題に慣れる。	

2	9	古文 『源氏物語』光源氏の誕生	登場人物の心情を考えながら長編物語を読み、味わう。 登場人物の関係を理解する。 敬語について復習する。	定期試験の成績 小テストの成績 提出物 授業中の態度・発言
	10	漢文 漢詩	近体詩の形式を復習する。 詩を鑑賞する。	
	11	問題集『力をつける古典』 8・9・23・24	古文・漢文の問題に慣れる。	
	12	古文 『源氏物語』若紫との出会い	登場人物の心情を考えながら長編物語を読み、味わう。 敬語に注意しながら文章を正しく読解する。 和歌の修辞についての理解を深める。	
		漢文 『史記』鴻門の会	長編物語を読み、味わう。 登場人物の関係を把握する。 受身・疑問・抑揚・限定などの句法について学習する。	
		問題集『力をつける古典』 10・11・25・26 (冬期休暇中の課題) 問題集『力をつける古典』 12・13・27・28	古文・漢文の問題に慣れる。	
3	1	古文 『大鏡』南院の競射	歴史物語について学習する。 敬語・助動詞などの文法事項の復習をする。	定期試験の成績 小テストの成績 提出物 授業中の態度・発言
	2	漢文 『孟子』不忍人之心 『韓非子』侵官之害	諸子百家について学習する。 それぞれの思想を理解し、文章を正しく読解する。 仮定・疑問・二重否定・比較などの句法について学習する。	
	3	『力をつける古典』 14・15・29・30	古文・漢文の問題に慣れる。	

※上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典B	4	2年9組

使用教科書	副教材
古典B (教育出版)	東京書籍『新精選 古典文法 改訂版』・東京書籍『新精選古典文法 準拠ノート』・数研出版『力をつける古典』・尚文出版『新明説漢文』・尚文出版『新明説漢文基本練習ノート』・尚文出版『古文単語301』

1. 学習の目標

<p>1, 古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広げ、古典に親しむことによって教養を身に付け、人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>2, 古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢文から受けた影響を知り、双方をより深く理解する。</p>

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。古典を通して人間や社会に対する考えを深めようとしているか。	自分の考えをまとめて相手に分かるように伝えようとしているか。また、人の意見を聞き、理解しようとしているか。	課題に積極的に取り組み、自ら調べたことや考えたことを文章にまとめることができるか。	教材をきちんと読んで的確な読解ができるか。また、古文・漢文の文体を味わい、音読ができるか。	語句の意味・用法、文法、作品の背景となる事柄などについて、的確な知識を身に付け、古典作品の読解に活かしているか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト対策	古典の学習目標、学習方法、ノートのとり方など 基礎学力到達度テスト対策として、過去問題を解き、問題に慣れる。	定期試験の成績 小テストの成績 提出物 授業中の態度・発言
	5	古文 『沙石集』 児の知恵	説話のおもしろさと敬語を学ぶ。 1年次の文法の復習。	
		漢文 「故事成語」 漱石枕流・梁上君子	基本的な訓読の復習。 故事成語の意味と日本文学との関係を学ぶ。 否定・使役などの句法について学習する。	
	6	問題集『力をつける古典』 1・2・16・17	古文・漢文の問題に慣れる。	
	7	古文 『枕草子』中納言参り給ひて 『更級日記』源氏の五十余巻	登場人物に注意し、主語を明らかにして読解する。 敬語についての理解を深める。 日記文学について知識を深める。 源氏物語の、後代の文学への影響を学ぶ。	
		漢文 『春夜宴桃李園序』	作者の人生観を読み取る。 構成や展開に即して内容を読解する。 疑問・抑揚・反語・仮定などの句法について学習する。	
		問題集『力をつける古典』 3・4・18・19	古文・漢文の問題に慣れる。	
		(夏期休暇中の課題) 問題集『力をつける古典』 5～7・20～22		

2	9	古文 『源氏物語』光源氏の誕生	登場人物の心情を考えながら長編物語を読み、味わう。 登場人物の関係を理解する。 敬語について復習する。	定期試験の成績 小テストの成績 提出物 授業中の態度・発言
	10	漢文 漢詩	近体詩の形式を復習する。 詩を鑑賞する。	
	11	問題集『力をつける古典』 8・9・23・24	古文・漢文の問題に慣れる。	
	12	古文 『源氏物語』若紫との出会い	登場人物の心情を考えながら長編物語を読み、味わう。 敬語に注意しながら文章を正しく読解する。 和歌の修辞についての理解を深める。	
		漢文 『史記』鴻門の会	長編物語を読み、味わう。 登場人物の関係を把握する。 受身・疑問・抑揚・限定などの句法について学習する。	
		問題集『力をつける古典』 10・11・25・26 (冬期休暇中の課題) 問題集『力をつける古典』 12・13・27・28	古文・漢文の問題に慣れる。	
3	1	古文 『大鏡』南院の競射	歴史物語について学習する。 敬語・助動詞などの文法事項の復習をする。	定期試験の成績 小テストの成績 提出物 授業中の態度・発言
	2	漢文 『孟子』不忍人之心 『韓非子』侵官之害	諸子百家について学習する。 それぞれの思想を理解し、文章を正しく読解する。 仮定・疑問・二重否定・比較などの句法について学習する。	
	3	『力をつける古典』 14・15・29・30	古文・漢文の問題に慣れる。	

※上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典B	2	2年6組～8組

使用教科書	副教材
古典B (教育出版)	東京書籍『新精選 古典文法 改訂版』・東京書籍『新精選古典文法 準拠ノート』・数研出版『力をつける古典』・尚文出版『新明説漢文』・尚文出版『新明説漢文基本練習ノート』・尚文出版『古文単語301』

1. 学習の目標

<p>1, 古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典に親しむことによって教養を身に付け、人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>2, 古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢文から受けた影響を知り、双方をより深く理解する。</p>
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。古典を通して人間や社会に対する考えを深めようとしているか。	自分の考えをまとめて相手に分かるように伝えようとしているか。また、人の意見を聞き、理解しようとしているか。	課題に積極的に取り組み、自ら調べたことや考えたことを文章にまとめることができるか。	教材をきちんと読んで的確な読解ができるか。また、古文・漢文の文体を味わい、音読ができるか。	語句の意味・用法、文法、作品の背景となる事柄などについて、的確な知識を身に付け、古典作品の読解に活かしているか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト対策	古典の学習目標、学習方法、ノートのとり方など 基礎学力到達度テスト対策として、過去問題を解き、問題に慣れる。	定期試験の成績 小テストの成績 提出物 授業中の態度・発言
	5	古文 『沙石集』 児の知恵	説話のおもしろさと敬語を学ぶ。 1年次の文法の復習。	
		漢文 「故事成語」 梁上君子	基本的な訓読の復習。 故事成語の意味と日本文学との関係を学ぶ。 否定・使役などの句法について学習する。	
	6	問題集『力をつける古典』 1・2・16・17	古文・漢文の問題に慣れる。	
	7	古文 『枕草子』中納言参り給ひて	登場人物に注意し、主語を明らかにして読解する。 敬語についての理解を深める。	
		漢文 『春夜宴桃李園序』	作者の人生観を読み取る。 構成や展開に即して内容を読解する。 疑問・抑揚・反語・仮定などの句法について学習する。	
		問題集『力をつける古典』 3・4・18・19 (夏期休暇中の課題) 問題集『力をつける古典』 5～7・20～22	古文・漢文の問題に慣れる。	

2	9	古文 『源氏物語』光源氏の誕生	登場人物の心情を考えながら長編物語を読み、味わう。 登場人物の関係を理解する。 敬語について復習する。	定期試験の成績 小テストの成績 提出物 授業中の態度・発言
	10	漢文 漢詩	近体詩の形式を復習する。 詩を鑑賞する。	
	11	問題集『力をつける古典』 8・9・23・24	古文・漢文の問題に慣れる。	
	12	古文 『源氏物語』若紫との出会い	登場人物の心情を考えながら長編物語を読み、味わう。 敬語に注意しながら文章を正しく読解する。 和歌の修辞についての理解を深める。	
		漢文 『史記』鴻門の会	長編物語を読み、味わう。 登場人物の関係を把握する。 受身・疑問・抑揚・限定などの句法について学習する。	
		問題集『力をつける古典』 10・11・25・26 (冬期休暇中の課題) 問題集『力をつける古典』 12・13・27・28	古文・漢文の問題に慣れる。	
3	1	古文 『大鏡』南院の競射	歴史物語について学習する。 敬語・助動詞などの文法事項の復習をする。	定期試験の成績 小テストの成績 提出物 授業中の態度・発言
	2	漢文 『孟子』不忍人之心	諸子百家について学習する。 それぞれの思想を理解し、文章を正しく読解する。 仮定・疑問・否定などの句法について学習する。	
	3	『力をつける古典』 14・15・29・30	古文・漢文の問題に慣れる。	

※上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典B	4	2年11組

使用教科書	副教材
古典B (教育出版)	東京書籍『新精選 古典文法 改訂版』・東京書籍『新精選古典文法 準拠ノート』・数研出版『力をつける古典』・尚文出版『新明説漢文』・尚文出版『新明説漢文基本練習ノート』・尚文出版『古文単語301』

1. 学習の目標

<p>1, 古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広げ、古典に親しむことによって教養を身に付け、人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>2, 古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢文から受けた影響を知り、双方をより深く理解する。</p>

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。古典を通して人間や社会に対する考えを深めようとしているか。	自分の考えをまとめて相手に分かるように伝えようとしているか。また、人の意見を聞き、理解しようとしているか。	課題に積極的に取り組み、自ら調べたことや考えたことを文章にまとめることができるか。	教材をきちんと読んで的確な読解ができるか。また、古文・漢文の文体を味わい、音読ができるか。	語句の意味・用法、文法、作品の背景となる事柄などについて、的確な知識を身に付け、古典作品の読解に活かしているか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト対策	古典の学習目標、学習方法、ノートのとり方など 基礎学力到達度テスト対策として、過去問題を解き、問題に慣れる。	定期試験の成績 小テストの成績 提出物 授業中の態度・発言
	5	古文 『沙石集』 児の知恵	説話のおもしろさと敬語を学ぶ。 1年次の文法の復習。	
		漢文 「故事成語」 漱石枕流・梁上君子	基本的な訓読の復習。 故事成語の意味と日本文学との関係を学ぶ。 否定・使役などの句法について学習する。	
	6	問題集『力をつける古典』 1・2・16・17	古文・漢文の問題に慣れる。	
	7	古文 『枕草子』中納言参り給ひて 『更級日記』源氏の五十余巻	登場人物に注意し、主語を明らかにして読解する。 敬語についての理解を深める。 日記文学について知識を深める。 源氏物語の、後代の文学への影響を学ぶ。	
		漢文 『春夜宴桃李園序』	作者の人生観を読み取る。 構成や展開に即して内容を読解する。 疑問・抑揚・反語・仮定などの句法について学習する。	
		問題集『力をつける古典』 3・4・18・19	古文・漢文の問題に慣れる。	
		(夏期休暇中の課題) 問題集『力をつける古典』 5～7・20～22		

2	9	古文 『源氏物語』光源氏の誕生	登場人物の心情を考えながら長編物語を読み、味わう。 登場人物の関係を理解する。 敬語について復習する。	定期試験の成績 小テストの成績 提出物 授業中の態度・発言
	10	漢文 漢詩	近体詩の形式を復習する。 詩を鑑賞する。	
	11	問題集『力をつける古典』 8・9・23・24	古文・漢文の問題に慣れる。	
	12	古文 『源氏物語』若紫との出会い	登場人物の心情を考えながら長編物語を読み、味わう。 敬語に注意しながら文章を正しく読解する。 和歌の修辞についての理解を深める。	
		漢文 『史記』鴻門の会	長編物語を読み、味わう。 登場人物の関係を把握する。 受身・疑問・抑揚・限定などの句法について学習する。	
		問題集『力をつける古典』 10・11・25・26 (冬期休暇中の課題) 問題集『力をつける古典』 12・13・27・28	古文・漢文の問題に慣れる。	
3	1	古文 『大鏡』南院の競射	歴史物語について学習する。 敬語・助動詞などの文法事項の復習をする。	定期試験の成績 小テストの成績 提出物 授業中の態度・発言
	2	漢文 『孟子』不忍人之心 『韓非子』侵官之害	諸子百家について学習する。 それぞれの思想を理解し、文章を正しく読解する。 仮定・疑問・二重否定・比較などの句法について学習する。	
	3	『力をつける古典』 14・15・29・30	古文・漢文の問題に慣れる。	

※上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	国語特講 I	3	2年10組

使用教科書	副教材
精選現代文B (教育出版) 精選古典B 改訂版 (大修館書店)	新精選古典文法 (東京書籍) 新精選古典文法準拠ノート (東京書籍) 新明説漢文 (尚文出版) 新明説漢文基本練習ノート (尚文出版) ベーシックマスター 国語 現代文 (Z会) TOP2500 (いっずな書店) 力をつける古典ステップ2 (数教出版) 古典文法10題ドリル古文基礎編 (駿台文庫) シンプルスタイルシリーズ古文単語301 (尚文出版)

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・近代以降の様々な文章にふれ、読解力を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。 ・古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広げ、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。 ・古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢文から受けた影響と知り、双方をより深く理解する。 ・問題演習を通し、基礎力の充実から応用力へのステップアップを図る。
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手に分かるように伝えようとしているか。また、人の意見を的確に聞き取れているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書けるか。	自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。様々な文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしているか。古文・漢文を適切に読解できたか。	語彙を増やし、知見を自分のものとしたか。また、筆者の主張を十分に理解した上で、批判的に読むことができたか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	・基礎学力到達度テスト対策	・問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み (態度・発言・予習) ・課題提出状況・内容 ・小テスト ・定期試験
	5	・説話『十訓抄』 (古文) ・小説『山月記』 (現代文) 【問題演習】	<ul style="list-style-type: none"> ・説話を通して、古文の読みになれる。(動画配信) ・主人公を鏡として、自分について振り返り、思索を深める。(動画配信) 『ベーシックマスター 現代文』論理的文章1、2・文学的文章1、2 『力をつける古典』1・2・16・17 	
	6	・故事成語「糟糠之妻」 (漢文) ・評論「ミロのヴィーナス」 (現代文)	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の読みになれるとともに、身近な慣用語の成り立ちにふれる。 ・指示語・対比・構成など評論の基礎を学ぶ 	
	7	・随筆『方丈記』 (古文) ・史伝『史記』 (漢文) 【問題演習】 【問題演習】	<ul style="list-style-type: none"> ・古文の読解と、無常観について理解を深める ・漢文の読解と、四字熟語の成り立ちについて学ぶ 『ベーシックマスター 現代文』論理的文章3・文学的文章3 『力をつける古典』3・4・18・19 ・模試対策 (夏休みの課題) 『ベーシックマスター 現代文』論理的文章4・文学的文章4 『力をつける古典』5～7・20～22 	

2	9	・評論「言葉と貨幣」 (現代文)	・構成・展開・要旨を捉え、社会との関係について自分の考えを深める。	授業への取り組み (態度・発言・予習) ・課題提出状況・内容 ・小テスト ・定期試験
		・随筆『枕草子』 (古文)	・随筆を味わい、作者の心情の変化について理解する	
	10	・漢詩 (漢文)	・詩の形式について知識を深め、詩を鑑賞する	
		【問題演習】	・『ベーシックマスター 現代文』論理的文章5・文学的文章5 ・『力をつける古典』8・9・23・24	
	11	・評論「脱構築とは何か」 (現代文)	・用語に注意しながら、評論を読解する。	
		・物語『大鏡』(古文)	模試対策 ・『大鏡』の特徴や和歌の読解を理解する。	
	12	・逸話と寓話 (漢文)	・句形に注意しながら、漢文を読解する。	
		【問題演習】	『ベーシックマスター 現代文』論理的文章6・文学的文章6 『力をつける古典』10・11・25・26	
		【問題演習】	(冬休みの課題) 『ベーシックマスター 現代文』論理的文章7・文学的文章7 『力をつける古典』12・13・27・28	
3	1	・こころ (現代文)	・主人公の心情と、人間のエゴイズムについて考える。	授業への取り組み (態度・発言・予習) ・課題提出状況・内容 ・小テスト ・定期試験
	2	・物語『源氏物語』 (古文)	模試対策 ・平安時代の生活と、物語の価値について理解する。	
	3	・思想 (漢文)	・古代中国の思想を学ぶ。	
		【問題演習】	『ベーシックマスター 現代文』論理的文章8・文学的文章8 『力をつける古典』14・15・29・30	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	世界史B	3	2年11組

使用教科書	副教材
詳説 世界史B 改訂版 (山川出版社)	グローバルワイド 最新世界史図表 (第一学習社) 世界史用語集 改訂版 (山川出版社) 山川 一問一答世界史 第3版 (山川出版社)

1. 学習の目標

古代から近現代にいたる世界の歴史の大きな枠組みと流れを、わが国の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に貢献できる日本人としての自覚と資質を涵養する。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
世界の様々な地域の文化や習慣を理解し、世界における日本人の地位に相応しい国際感覚を学ぶ。	各国の歴史が、世界の様々な地域に影響を与え、遠く、アジア・日本とも繋がっていることを多角的に考察する。	図版や地図を通して各地の世界遺産や、失われた過去の遺産を学び、今日の社会に残る文化の起源を実際の資料から理解する。	世界の歴史を理解する上で必要な知識を身につけ、その関連性を理解する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	序章：先史の世界	・人類の進化の過程について把握する。	授業態度 授業ノート提出 宿題プリントの提出 定期試験の成績
	5	第1章：オリエントと地中海世界 A 古代オリエント世界 B ギリシア世界 C ヘレニズム世界	・人類にとっての食糧生産革命（新石器革命）の意義について考察し、農耕・牧畜の開始による文明の成立を理解する。 ・オリエントの古代文明の成立と発展の過程とその後オリエントを統一した2つの帝国の特徴を把握し、違いを考察する。 ・ボリスと古代民主政治の特徴を中心に、古代ギリシア文明の特質を理解し、またオリエント世界が融合してヘレニズム世界が成立したことを把握する。 ・オリエント世界の影響を受けて発達した地中海世界で民主政治と専制君主政治の相違を理解する。	
		D ローマ世界	・都市国家ローマの和政の特徴と、支配の拡大に伴う社会の変化について理解する。 ・元首政期のローマ社会の特徴について整理すると共に、共和政から帝政への移行とその必然性を理解する。 ・ローマ文明が後世に伝えた影響について理解する。 ・イラン文明と周辺諸国との関係を、パルティアやササン朝の統治体制、ペルシア文化の特質から考察する。 (ローマ世界までは映像配信による授業を行う)	
		第2章：アジア・アメリカの古代文明 A インドの古典文明 B 東南アジア文明	・インド文明と、今日も残るカースト制社会の起源を理解する。 ・インダス文明からクシャーナ朝時代までの古代インド史の特質を、仏教を中心に把握する。 ・ヒンドゥー教の成立を中心に、インド世界の基盤が形成された過程を把握する。	
6	C 中国の古典文明	・中国文明の起源を理解し、中華帝国の形成過程を考察する。 ・黄河文明、邑制国家の成立、社会の変動と諸思想の出現について理解する。 ・秦漢帝国の中央集権的専制国家の形成、三国時代から隋・唐の時代の諸制度の確立と周辺地位への拡大による東アジア文明圏の形成過程を把握する。		
7				

2	9	第3章:東アジア世界の形成と発展 A 北方民族の活動と中国の分裂 B 東アジア文化圏の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・北方民族の動きに注目しながら、唐滅亡から宋の成立に至る時期の東アジアの変動について理解する。 ・唐末から宋代において発展した都市経済や当時の文化について考察し、中国社会の成熟と文化の発展を理解する。 	授業態度 授業ノート提出 宿題プリントの提出 定期試験の成績		
		第6章:内陸アジア・東アジア世界の展開 A 東アジア諸地域の自立化 B モンゴルの大帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーラシア大陸におけるモンゴル民族の勢力拡大、モンゴル帝国の歴史的意義について考察し、支配と文化の東西交流を理解する。 ・モンゴル帝国の支配体制の特徴を理解し、社会・経済の発展と当時の文化について考察する。 			
		第7章アジア諸地域の繁栄 A 東アジアの動向 B 清代の中国と隣接諸地域	<ul style="list-style-type: none"> ・明、清それぞれによる支配体制の特質を理解し、その社会・経済の発展、当時の文化について考察する。 ・明、清それぞれによる支配の拡大と、朝貢貿易による東アジア世界の秩序を理解する。 			
	10	第4章:イスラーム世界の形成と発展 A イスラーム世界の成立 B イスラーム世界の発展 C インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教成立の経緯と諸民族へのイスラーム教の普及に伴うイスラーム世界の拡大と、地方政権の成立と発展について理解する。 ・イスラーム文明の特質を考察し、その融合性や普遍性を理解し、イスラーム文化の世界史的意義について認識する。 			
		第7章:アジア諸地域の繁栄 C トルコ・イラン世界の展開 D ムガル帝国の興隆と衰退	<ul style="list-style-type: none"> ・トルコ世界とイラン世界の特質を理解する。 ・オスマン帝国の内政や社会の特質を理解し、また、ヨーロッパ世界との関連を視野に入れオスマン帝国を捉える。 ・インドにおけるイスラーム教とヒンドゥー教の宗教対立と融和の歴史を、ムガル帝国の支配を通して理解する。 			
		第5章:ヨーロッパ世界の形成と発展 A 西ヨーロッパ世界 B 東ヨーロッパ世界 C 西ヨーロッパ中世世界の変容 D 西ヨーロッパ中世文化	<ul style="list-style-type: none"> ・東欧世界と西欧中世世界のそれぞれの歴史的特質を国家と宗教の両面から考察する。 ・封建社会の形勢とその特徴、都市の発展について把握し、西欧中世社会の特質を理解する。 ・教皇権の拡大と十字軍を通して、封建制崩壊と西欧外への拡張を理解する。 ・西欧文化と、ビザンツ・イスラーム世界の関連に注目する。 ・教皇権衰退と王権伸長の様相から、封建社会の衰退を考察する。 ・科学精神の目覚めと市民階級の台頭を理解する。 			
	3	1	第8章:近世ヨーロッパの形成 A ヨーロッパ世界の拡大 B ルネサンス C 宗教改革 D ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成		<ul style="list-style-type: none"> ・新航路開拓でポルトガル・スペインが発展したことに気付く。 ・欧州のみならず、世界各地で生じた社会変容を理解する。 ・ヒューマニズムについて理解する。 ・権利の伸長を求めた市民階級存在と宗教改革の関連を理解する。 ・オランダの覇権と英仏の台頭を中心に、17世紀の西欧について理解する。 ・プロイセンの強国化やロシアの台頭の課程とその影響について、当時の国際関係をふまえて理解する。 	授業態度 授業ノート提出 宿題プリントの提出 小テスト成績 定期試験の成績
		2				
		3				

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	世界史B	5	2年2・3・9組

使用教科書	副教材
詳説 世界史B 改訂版 (山川出版社)	グローバルワイド 最新世界史図表 (第一学習社) 世界史用語集 改訂版 (山川出版社) 山川 一問一答世界史 第3版 (山川出版社)

1. 学習の目標

古代から近現代にいたる世界の歴史の大きな枠組みと流れを、わが国の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に貢献できる日本人としての自覚と資質を涵養する。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
世界の様々な地域の文化や習慣を理解し、世界における日本人の地位に相応しい国際感覚を学ぶ。	各国の歴史が、世界の様々な地域に影響を与え、遠く、アジア・日本とも繋がっていることを多角的に考察する。	図版や地図を通して各地の世界遺産や、失われた過去の遺産を学び、今日の社会に残る文化の起源を実際の資料から理解する。	世界の歴史を理解する上で必要な知識を身につけ、その関連性を理解する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	序章：先史の世界	・人類の進化の過程について把握する。	授業態度 授業ノート提出 宿題プリントの提出 定期試験の成績
	5	第1章：オリエントと地中海世界 A 古代オリエント世界 B ギリシア世界 C ヘレニズム世界	・人類にとっての食糧生産革命（新石器革命）の意義について考察し、農耕・牧畜の開始による文明の成立を理解する。 ・オリエントの古代文明の成立と発展の過程とその後オリエントを統一した2つの帝国の特徴を把握し、違いを考察する。 ・ボリスと古代民主政治の特徴を中心に、古代ギリシア文明の特質を理解し、またオリエント世界が融合してヘレニズム世界が成立したことを把握する。 ・オリエント世界の影響を受けて発達した地中海世界で民主政治と専制君主政治の相違を理解する。	
		D ローマ世界	・都市国家ローマの和政の特徴と、支配の拡大に伴う社会の変化について理解する。 ・元首政期のローマ社会の特徴について整理すると共に、共和政から帝政への移行とその必然性を理解する。 ・ローマ文明が後世に伝えた影響について理解する。 ・イラン文明と周辺諸国との関係を、パルティアやササン朝の統治体制、ペルシア文化の特質から考察する。 (ローマ世界までは映像配信による授業を行う)	
		第2章：アジア・アメリカの古代文明 A インドの古典文明 B 東南アジア文明	・インド文明と、今日も残るカースト制社会の起源を理解する。 ・インダス文明からクシャーナ朝時代までの古代インド史の特質を、仏教を中心に把握する。 ・ヒンドゥー教の成立を中心に、インド世界の基盤が形成された過程を把握する。	
6	C 中国の古典文明	・中国文明の起源を理解し、中華帝国の形成過程を考察する。 ・黄河文明、邑制国家の成立、社会の変動と諸思想の出現について理解する。 ・秦漢帝国の中央集権的専制国家の形成、三国時代から隋・唐の時代の諸制度の確立と周辺地位への拡大による東アジア文明圏の形成過程を把握する。		
7				

2	9	第3章:東アジア世界の形成と発展 A 北方民族の活動と中国の分裂 B 東アジア文化圏の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・北方民族の動きに注目しながら、唐滅亡から宋の成立に至る時期の東アジアの変動について理解する。 ・唐末から宋代において発展した都市経済や当時の文化について考察し、中国社会の成熟と文化の発展を理解する。 	授業態度 授業ノート提出 宿題プリントの提出 定期試験の成績		
		第6章:内陸アジア・東アジア世界の展開 A 東アジア諸地域の自立化 B モンゴルの大帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーラシア大陸におけるモンゴル民族の勢力拡大、モンゴル帝国の歴史的意義について考察し、支配と文化の東西交流を理解する。 ・モンゴル帝国の支配体制の特徴を理解し、社会・経済の発展と当時の文化について考察する。 			
		第7章アジア諸地域の繁栄 A 東アジアの動向 B 清代の中国と隣接諸地域	<ul style="list-style-type: none"> ・明、清それぞれによる支配体制の特質を理解し、その社会・経済の発展、当時の文化について考察する。 ・明、清それぞれによる支配の拡大と、朝貢貿易による東アジア世界の秩序を理解する。 			
	10	第4章:イスラーム世界の形成と発展 A イスラーム世界の成立 B イスラーム世界の発展 C イト・東南アジア・アフリカのイスラーム化	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教成立の経緯と諸民族へのイスラーム教の普及に伴うイスラーム世界の拡大と、地方政権の成立と発展について理解する。 ・イスラーム文明の特質を考察し、その融合性や普遍性を理解し、イスラーム文化の世界史的意義について認識する。 			
		第7章:アジア諸地域の繁栄 C トルコ・イラン世界の展開 D ムガル帝国の興隆と衰退	<ul style="list-style-type: none"> ・トルコ世界とイラン世界の特質を理解する。 ・オスマン帝国の内政や社会の特質を理解し、また、ヨーロッパ世界との関連を視野に入れオスマン帝国を捉える。 ・インドにおけるイスラーム教とヒンドゥー教の宗教対立と融和の歴史を、ムガル帝国の支配を通して理解する。 			
		第5章:ヨーロッパ世界の形成と発展 A 西ヨーロッパ世界 B 東ヨーロッパ世界 C 西ヨーロッパ中世世界の変容 D 西ヨーロッパ中世文化	<ul style="list-style-type: none"> ・東欧世界と西欧中世世界のそれぞれの歴史的特質を国家と宗教の両面から考察する。 ・封建社会の形勢とその特徴、都市の発展について把握し、西欧中世社会の特質を理解する。 ・教皇権の拡大と十字軍を通して、封建制崩壊と西欧外への拡張を理解する。 ・西欧文化と、ビザンツ・イスラーム世界の関連に注目する。 ・教皇権衰退と王権伸長の様相から、封建社会の衰退を考察する。 ・科学精神の目覚めと市民階級の台頭を理解する。 			
	3	1	第8章:近世ヨーロッパの形成 A ヨーロッパ世界の拡大 B ルネサンス C 宗教改革 D ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成		<ul style="list-style-type: none"> ・新航路開拓でポルトガル・スペインが発展したことに気付く。 ・欧州のみならず、世界各地で生じた社会変容を理解する。 ・ヒューマニズムについて理解する。 ・権利の伸長を求めた市民階級存在と宗教改革の関連を理解する。 ・オランダの覇権と英仏の台頭を中心に、17世紀の西欧について理解する。 ・プロイセンの強国化やロシアの台頭の課程とその影響について、当時の国際関係をふまえて理解する。 	授業態度 授業ノート提出 宿題プリントの提出 小テスト成績 定期試験の成績
		2				
		3				

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民科	日本史B	3	高校2年11組

使用教科書	副教材
『詳説 日本史B』(山川出版社)	『最新日本史図表』(第一学習社) 『詳録 新日本史史料集成』(第一学習社) 『山川 一問一答 日本史』(山川出版社)

1. 学習の目標

我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化を伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚を国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。原始・古代から現代までの日本史の展開を、世界史的視野に立ち、多くの要素を踏まえ、幅広い見方で大きく考える。また、歴史の展開の中で、日本文化の特色やその伝統の形成について認識を深める。その際、歴史の過程を実証的に考察することによって歴史の見方・考え方を身につけ、歴史的思考力を育成する。そして、民主的・平和的な国家・社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対応できる資質を養うことをねらいとする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第1章 日本文化のあけぼの 1. 文化のはじまり 2. 農耕社会の成立 3. 古墳とヤマト政権	授業動画を視聴する。 ・更新世の時代に旧石器文化が営まれ、完新世に入って縄文・弥生文化が展開する。その間におきた農耕の開始やそれに伴う国家形成の動きを捉え、4～5世紀の古墳時代にヤマト政権が連合政権を確立していった様子を理解する。	授業態度 ノート提出 小テスト 定期試験の成績
	5	第2章 律令国家の形成 1. 飛鳥の朝廷 2. 律令国家への道 3. 平城京の時代 4. 天平文化 5. 平安王朝の形成	授業動画を視聴する。 ・7世紀、律令国家建設の歩みが本格的に進められ、平城京の時代に古代国家を現出し、天平文化が開花する。その過程と、8世紀末、平安京遷都など律令再建の動きを理解する。	
	6	第3章 貴族政治と国風文化 1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 地方政治の展開と武士	・律令体制が動揺する一方で、土地制度面では農民の成長が見られ、荘園・公領体制に切り替わり、政治面では摂関政治から武士の台頭が目立ち、私権化の方向に進んでいく。文化面では貴族政治の下で国風文化が開花するなど日本独自の社会発展が進む中、古代から中世への過渡期を捉える。	
2	9	第4章 中世社会の成立	・11世紀末、院政に続く源平争乱を戦い抜いた源頼朝が鎌倉幕府を開き、源氏将軍3代の後、北条氏の執権政治・得宗専制	授業態度 ノート提出 小テスト 定期試験の成績

3	10	1. 院政と平氏の台頭 2. 鎌倉幕府の成立 3. 武士の社会 4. 蒙古襲来と幕府の衰退	政治が展開する様子を理解する。 ・鎌倉時代初期の公武二元支配の様子と、承久の乱を契機に武家勢力が公家勢力を圧倒する様子を捉えるとともに、文化面でも公武二元性が見られたことにも留意する。	授業態度 ノート提出 小テスト 定期試験の成績
	11	5. 鎌倉文化		
	12	第5章 武家社会の成長 1. 室町幕府の成立 2. 幕府の衰退と庶民の台頭 3. 室町文化 4. 戦国大名の登場	・鎌倉幕府滅亡後、建武新政という古代政権が一時復活するが、この成立と崩壊を契機として武家社会がいつその成長を見せていく様子を理解する。 ・南北朝動乱期に守護が成長し、室町幕府の将軍と対立・妥協を行ったが、その後、応仁の乱を契機に時代が戦国時代へと移行し、下克上の風潮のもと戦国大名の激しい構想が展開された様子を理解する。	
	1	第6章 幕藩体制の確立 1. 織豊政権 2. 桃山文化 3. 幕藩体制の成立	・16世紀半ばのヨーロッパ人來航を踏まえ、織豊政権が中世末期の戦国争乱を収束して、近世の出発点を開いた様子を理解する。 ・織豊政権を引き継いだ形となった徳川氏がいわゆる幕藩体制を固め、寛永期までに幕府組織を整備し、対外的にも鎖国体制を完成させることで、日本の近世社会が成立していった様子を理解する。	
	3	第7章 幕藩体制の展開 1. 幕政の安定	・寛永期を画期として幕政が安定期を迎える。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民科	日本史B	5	高校2年1・3～5・9組

使用教科書	副教材
『詳説 日本史B』(山川出版社)	『山川 詳説日本史図録』(山川出版社) 『詳録 新日本史史料集成』(第一学習社) 『山川 一問一答 日本史』(山川出版社)

1. 学習の目標

我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化を伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚を国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。原始・古代から現代までの日本史の展開を、世界史的視野に立ち、多くの要素を踏まえ、幅広い見方で大きく考える。また、歴史の展開の中で、日本文化の特色やその伝統の形成について認識を深める。その際、歴史の過程を実証的に考察することによって歴史の見方・考え方を身につけ、歴史的思考力を育成する。そして、民主的・平和的な国家・社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対応できる資質を養うことをねらいとする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できる。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第1章 日本文化のあけぼの 1. 文化のはじまり 2. 農耕社会の成立 3. 古墳とヤマト政権	授業動画を視聴する。 ・更新世の時代に旧石器文化が営まれ、完新世に入って縄文・弥生文化が展開する。その間におきた農耕の開始やそれに伴う国家形成の動きを捉え、4～5世紀の古墳時代にヤマト政権が連合政権を確立していった様子を理解する。	授業態度 ノート提出 小テスト 定期試験の成績
	5	第2章 律令国家の形成 1. 飛鳥の朝廷 2. 律令国家への道 3. 平城京の時代 4. 天平文化 5. 平安王朝の形成	授業動画を視聴する。 ・7世紀、律令国家建設の歩みが本格的に進められ、平城京の時代に古代国家を現出し、天平文化が開花する。その過程と、8世紀末、平安京遷都など律令再建の動きを理解する。	
	6	第3章 貴族政治と国風文化 1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 地方政治の展開と武士	・律令体制が動揺する一方で、土地制度面では農民の成長が見られ、荘園・公領体制に切り替わり、政治面では摂関政治から武士の台頭が目立ち、私権化の方向に進んでいく。文化面では貴族政治の下で国風文化が開花するなど日本独自の社会発展が進む中、古代から中世への過渡期を捉える。	
2	9	第4章 中世社会の成立	・11世紀末、院政に続く源平争乱を戦い抜いた源頼朝が鎌倉幕府を開き、源氏将軍3代の後、北条氏の執権政治・得宗専制	授業態度 ノート提出 小テスト 定期試験の成績

3	10	1. 院政と平氏の台頭 2. 鎌倉幕府の成立 3. 武士の社会 4. 蒙古襲来と幕府の衰退	政治が展開する様子を理解する。 ・鎌倉時代初期の公武二元支配の様子と、承久の乱を契機に武家勢力が公家勢力を圧倒する様子を捉えるとともに、文化面でも公武二元性が見られたことにも留意する。	授業態度 ノート提出 小テスト 定期試験の成績
	11	5. 鎌倉文化		
	12	第5章 武家社会の成長 1. 室町幕府の成立 2. 幕府の衰退と庶民の台頭 3. 室町文化	・鎌倉幕府滅亡後、建武新政という古代政権が一時復活するが、この成立と崩壊を契機として武家社会がいつその成長を見せていく様子を考える。 ・南北朝動乱期に守護が成長し、室町幕府の将軍と対立・妥協を行ったが、その後、応仁の乱を契機に時代が戦国時代へと移行し、下克上の風潮のもと戦国大名の激しい構想が展開された様子を理解する。	
	1	4. 戦国大名の登場		
	2	第6章 幕藩体制の確立 1. 織豊政権 2. 桃山文化 3. 幕藩体制の成立	・16世紀半ばのヨーロッパ人來航を踏まえ、織豊政権が中世末期の戦国争乱を収束して、近世の出発点を開いた様子を理解する。 ・織豊政権を引き継いだ形となった徳川氏がいわゆる幕藩体制を固め、寛永期までに幕府組織を整備し、対外的にも鎖国体制を完成させることで、日本の近世社会が成立していった様子を理解する。	
	3	第7章 幕藩体制の展開 1. 幕政の安定	・寛永期を画期として幕政が安定期を迎える。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	地理B	5	高2年1, 3組

使用教科書	副教材
二宮書店「新詳地理B」 帝国書院「新詳高等地区」	とうほう「新編地理資料2019」 二宮書店「データブックオブザワールド vol.32 : 2020」

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・系統的内容を学ぶことにより、世界の様々な地域の特徴や共通点を結びつけて理解する。 ・地誌的内容を学習することにより、現代世界の地理的認識を養うとともに、多角的な視野を培う。
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
世界の様々な地域の特徴を学び、現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究する。	現代世界の地理的事象から課題を見出し、地域性をふまえて多角的・多面的に考察するとともに、国際社会の変化について考察する。	地図や統計など地域に関する諸資料を扱い、地理的事象を追究する技能(読解力・表現方法)を身につける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄やその追究の方法を理解し、知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	【村落・都市】 ・集落の形成 ・大都市圏の形成 ・都市機能の分散 ・様々な都市問題	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の村落・都市の成立要因・分類を学ぶ。 ・都市の機能が経済の発展とともに変化したことを学び、どのような影響を周囲に与えるか理解する。 ※一部、動画配信で対応	定期試験 (期末) 授業態度 (意欲・態度・発言など) ノート提出 などをもとに総合的に評価する。
	5			
	6	【開発・環境問題】 ・酸性雨 ・地球温暖化 ・オゾン層の破壊 ・砂漠化 ・熱帯林の破壊	<ul style="list-style-type: none"> ・世界的視野からみた環境問題・エネルギー問題には、多様な地域があることを理解する。 ・環境問題とエネルギー問題との間には相互に関連の深い問題も多く、地域ごとに複雑な状況であることを認識し、解決には国際協力が必要で緊急性もあることを理解する。 	
2	7	【国家と領域】 ・国家の三要素 ・様々な国境	<ul style="list-style-type: none"> ・国家の成立に必要な三要素など基本的知識を踏まえ、領土問題が発生する背景とその要因について理解する。 	定期試験 (中間・期末) 授業態度 (意欲・態度・発言など) ノート提出 などをもとに総合的に評価する。
	9	【国家群】 ・国際連合 ・ASEAN・EU・SCOなど	<ul style="list-style-type: none"> ・国家群を世界的視野から地域性をふまえて理解するとともに、国家間の結びつきを地理的に考察する意義を学ぶ。 	
	10	【人口・人口問題】 ・人口構成 ・世界の人口問題	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人口分布が偏っていることを理解し、要因を自然環境や社会環境の結びつきから考察する。 ・人口問題を大きく世界的にみていくと、人口の急増と高齢化の二つに分けられることを理解し、それぞれ地域性があることを理解する。 	

3	11	【人種・民族】 ・世界の人種と民族 ・言語と宗教 ・民族・領土問題	・人類集団の分類のひとつである「人種」「民族」とは何か、また現代の国家を構成する人類の多様な背景を考察する。 ・世界的視野・地域的視野から種々の民族・領土問題があることを学び、背景・現状の共通性と相違性について理解する。	定期試験 (学年末) 授業態度 (意欲・態度・発言など) ノート提出 などをもとに総合的に 評価する。
	12	【世界地誌】 ・北アメリカ地誌 ・南アメリカ地誌	・北アメリカを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、世界に大きな影響を与える農牧業・工業の分布や成立背景について、多角的に考察する。 ・南アメリカを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、著しい経済発展と今後の課題について考察する。	
	1	・オセアニア地誌	・オセアニアを位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、特に日本とオーストラリアの貿易を中心に太平洋諸国の現状と課題を考える。	
	2	・アフリカ地誌	・アフリカを、位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、特にアフリカで発生している多くの政治・経済的問題の多くは、植民地分割が原因になっていることを理解する。	
	3	・ヨーロッパ地誌	・ヨーロッパを位置・自然・農牧業・資源・貿易等を通して学び、EUの拡大・発展が周辺地域に与える影響を考察する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	現代社会	2	高校2年1組～11

使用教科書	副教材
『高等学校 改訂版 現代社会』(第一学習社)	『テオリア最新倫理資料集 新版二訂』(第一学習社) 『ベストセクション 2021 大学共通テスト 倫理重要問題集』(実教出版) 『2020 新政治・経済資料 三訂版』(実教出版) 『ベストセクション 2021 大学入学共通テスト 政治・経済重要問題集』(実教出版)

1. 学習の目標

人間尊重と科学的な精神に基づいて、広い視野に立って、社会と人間についての理解を、先哲の考えを通じて深めさせ、現代社会の基本的な問題点と自らのあり方生き方について主体的に考察するとともに、政治学の基本を通じて、現代社会の諸問題について考える力の基礎を養い、良識ある公民としての能力と態度を育てる。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
人間にかかわる事柄に関心を高め、意欲的に課題に取り組む。	課題を見出し、人間としてのあり方・生き方について、広い視野に立って多面的・多角的に考察する。	教科書・資料集のほかに様々な資料を主体的に選択し活用して、学び方を身につける。	人間としてのあり方生き方を、先哲の考えを学ぶことによって身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	(動画配信授業) 日本の伝統的な考え方	・古代日本思想の重層性や感覚的な倫理基準、清き明き心の重視などを学び、現代の日本人の考え方の原型となる思想を理解する。	定期試験 授業態度による
	5	(動画配信授業)	・鎮護国家の教えとして伝えられた体系的な仏教が、やがて鎌倉時代以降、誰にでも修行しうる信や行に純粹化した日本仏教へと変容を遂げて民衆に広まっていったことを理解する。	
2	6		・江戸時代には、哲学的な特色を持つ朱子学が奨励され、天地万物に通じる理のあり方が追究されたことを理解する。	定期試験 授業態度による
	7		・江戸時代には、一方で朱子学に反発する日本的な儒学が盛んになったこと、日本の古典を研究して、仏教や儒教の影響を受けない独自の日本人のあり方を求める国学が盛んになり、こうした流れが幕末以降の変革期に大きな役割を果たしたことを理解する。	
	9	民主政治における個人と国家	・「政治」や「経済」という言葉は、ニュースや新聞などでよく耳にする言葉ではあるが、それらの言葉がどういう言葉から生まれ、どのように使われるようになったのかを学ぶ。 ・国家の概念や民主政治の誕生に関して、歴史的な背景を概観しながら、理解する。	
	10		・民主政治のもとになる社会契約説を唱えた啓蒙思想家のホッブズ、ロック、ルソーを学び、その理念の内容と差異について理解する。	
3	1	基本的人権の保障と法の支配	・法の支配という概念の形成過程を、歴史的背景をふまえながら概観し、近代国家誕生の礎となったことを理解する。 ・基本的人権の歴史的な発展について、社会的背景をふまえながら概観する。 ・現代の政治においては、政党だけではなく多くの集団が政治に参加している多元主義が見られ、政策決定をめぐる様々な競争や調整や妥協が見られることを理解する。	定期試験 授業態度による

	2	<p>日本国憲法の基本原理</p> <p>基本的人権の保障と新しい人権</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近代国家においては、国家権力の専制を防ぎ、国民の権利を守るために憲法を制定して政治を行うことを理解する。 ・わが国においては、近代国家の体裁をととのえる為に大日本帝国憲法が制定された。その内容について理解する。 ・日本国憲法の制定過程について、歴史的背景をふまえながら概観し、その基本原理について学ぶ。 ・明治憲法と日本国憲法の差異について俯瞰する。 ・自由権、社会権、参政権、平等権、国務請求権の内容をふまえ、それに関わる各種の判例をとりあげながら、現代社会における人権の捉え方や課題について理解する。 	
	3			

※ 上記の内容は、進捗によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	倫理	3	2年3組

使用教科書	副教材
『高校倫理 新訂版』(実教出版)	『テオリア最新倫理資料集 新版二訂』(第一学習社) 『ベストセレクション 2021 大学共通テスト 倫理重要問題集』(実教出版)

1. 学習の目標

人間尊重と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
思想に対する関心や、意欲を高めることができたか。意欲的に学習課題に取り組んでいたか。	取り上げた先哲を、歴史的状況の中で理解することができたか。	学習の中で追求し、考察した過程や結果について、適切に表現する方法を身につけることができたか。	政治・経済・社会・生活など様々な観点から歴史的事象を理解し、その知識を身につけることが出来たか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	(動画配信授業) 人間としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> ・神話的世界観に対して疑問を抱く人々が始めた自然哲学時代について学ぶ。 ・ミレトス学派を中心に万物の根源は何であるかという事を模索した自然哲学者たちを学び、概観する。 ・自然哲学者の一部としてとらえられる向きもあるが、直接民主制下でのポリスにおいては、自らの弁論術を卓越させるために、ソフィストが台頭したことと、その思想について理解する。 ・相対主義や感覚主義を唱えるソフィストに対し、問答法と呼ばれる手法で真の知に迫ろうとしたソクラテスについて学ぶ。 ・ソクラテスに師事していた弟子のうち、最も信頼されていたプラトンについて学ぶ。彼の最も特徴的な思想である「イデア論」について学ぶ。 ・幼少より天才と称され、のちに「万学の祖」とも称されるアリストテレスについて学ぶ。師のプラトンの理想主義に反対し、個物の実態はどこまでも現実の中に在るべきだという現実主義を学ぶ。 ・ポリス崩壊のため世界市民として生きていくことを余儀なくされた時代の個人主義と世界市民思想について学ぶ。 ・宗教分野では、歴史的・社会的背景をふまえ、基本的な内容を理解する。 	定期試験 授業態度による
	5	(動画配信授業) 自然哲学とソフィスト		
2	6	ソクラテス プラトン アリストテレス ヘレニズム思想	<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教のアガペーや隣人愛の精神を通して、他者との親愛なる関係を構築すべく、豊かな心情を修得する。 ・ムハンマドによって唱えられたイスラームの教えとイスラーム社会の特色について理解する。 ・ルネサンスが近代の幕開けとなった運動であり、新たな人間像を提示し、人間中心主義を展開していったことを理解する。また、ルネサンスとともに宗教改革は近代を作り出すきっかけとなったことを理解し、プロテスタンティズムの自律の精神は、市民社会の成立などののちの歴史に大きな影響を与え、現代の我々の生活にもその影響が見られることを発見する。 	定期試験 授業態度による
	7	2. 宗教とは何か キリスト教 イスラーム		
	9	現代に生きる人間の倫理 人間の尊厳		

3	11	科学技術と人間 民主社会と自由の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパにおける中世末期から近世初期にかけての自然観の転換と経験論・合理論という近代科学や思想の源流となった学問の方法について理解する。 ・社会契約説が思想的ベースとなって近代民主社会が成立し、民主社会において人間の生き方が探求されたことや、人間の尊厳や社会性が考察されことを、カントやヘーゲルの思想から学ぶ。 ・資本主義の発展にともなう諸問題を背景に誕生した社会の改良を目指す思想や、社会の進歩や改善を唱える思想、さらに社会を変革して新たな社会をつくろうとする思想について学ぶ。また、社会の中の個人の主体性についての思想を理解する。 	定期試験 授業態度による
	12	社会と個人	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦が終結し、核兵器による破滅の機器や地球規模の環境破壊など、20世紀には新たな問題が次々と浮上した。そうしたなか誕生した、近代の人間中心主義を根本的に反省し、改めて人間の現実をみつめなおした思想を理解する。 	
	1	人間への新たな問い	<ul style="list-style-type: none"> ・20世紀になると、生命への畏敬を取り戻し、すべてを同胞として連帯し、共生していく社会を目指す思想が現れたことを把握し、人や生命が互いに幸福であるということはどういうことなのかをガンジーの思想やマザー＝テレサの行動などから考える。 	
	2	社会参加と幸福		
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	政治経済	2	2年3組

使用教科書	副教材
『改訂版 政治・経済』(数研出版)	『2020 新政治・経済資料 三訂版』(実教出版) 『ベストセレクション 2021 大学入学共通テスト 政治・経済重要問題集』(実教出版)

1. 学習の目標

<p>1. 民主主義の本質について理解を深めるとともに、理論的・体系的に理解する。</p> <p>2. 現代の政治、経済、国際関係などについて客観的に理解する。</p> <p>3. 1・2の理解を踏まえて現代の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を育成する。</p>
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
現代の政治、経済、国際関係に対して関心を高めていくとともに、意欲的に課題を追究し、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進を図るため客観的に考察しようとしている。	現代の政治、経済、国際関係に関する諸課題を発見し、その本質や特質、さらには望ましい解決の在り方について広い視野に立ち、多面的・多角的に考察するとともに、様々な立場を踏まえて公正な判断をしている。	現代の政治、経済、国際関係に関する諸資料を様々なメディアにより収集し、有用な情報を主体的に選択・活用するとともに、それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現していくことができる。	現代の政治、経済、国際関係について基本的な事柄、本質や特質などを理論的・体系的に理解し、基本的な概念や理論を知識として身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	(動画配信授業) 第2編 第1章 現代経済のしくみと特質	<ul style="list-style-type: none"> 現代の資本主義経済がどのような歴史的経緯を経て成立しているのかを理解するとともに、資本主義経済の特徴についても捉える。 資本主義経済と比較しながら社会主義経済とはどのような経済体制であるかを理解するとともに、今日の代表的な例として中国経済にも関心を向ける。 3つの経済主体について学び、経済活動は人体の血液のように循環しており、非常に多くの個人や企業が関わりながら、生産と消費が繰り返されて成り立っている事を認識する。 市場経済の持つメカニズムについて理解し、需給の動向が市場に与える影響について学ぶ。 	定期試験 授業態度による
	5	(動画配信授業) 2、資本主義経済の発展と変容		
	6	3、経済活動の主体		
	7	4、市場経済のしくみ		
2	9	5、物価の動向	<ul style="list-style-type: none"> インフレとデフレの要因や、それによる社会全体への影響について学ぶ。 景気変動の要因について理解する。 財政活動による景気の調整や、国家予算の内訳、国債費の増加に伴う諸々の問題について理解する。 景気の変動が激しくなると経済が混乱する為、政府や金融が不況からの対策を講じる流れを俯瞰し、国民生活にそれぞれが及ぼす影響について考察する。 戦後日本の経済の発展を時系列に眺め、その流れの中でターニングポイントとなる政策やそれに伴う物価の変動、諸問題に 	定期試験 授業態度による
	10	6、財政のしくみと租税		
	11	7、金融のしくみと働き		
	12	8、戦後日本経済の歩み		

3	1		ついて考察する。	定期試験 授業態度による
	2	9、中小企業と農業・食料	・日本経済における中小企業の意義について理解し、その可能性について模索する。	
		10、公害防止と環境保全	・戦後から現代における農業問題の変遷について理解し、現状の日本の農業問題についても理解する。	
		11、消費者問題と消費者保護	・地球規模での問題といえる環境問題とその対策について学び、未来を担う責任を感じる。 ・現代社会において消費者主権の観点から、どのような問題があるかを学ぶ。	
	3	12、労使関係と労働市場	・働き方改革が叫ばれる中、より良い労働環境や労使関係とはどのようなものかを模索する。	
		13、少子高齢社会と社会保障	・近年、社会保障費の拡大が進み、若年層への負担増が叫ばれる中で、福祉国家としてこれからのあるべき姿を模索する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	倫理政経	3	2年11組

使用教科書	副教材
『高校倫理 新訂版』(実教出版) 『改訂版 政治・経済』(数研出版)	『テオリア最新倫理資料集 新版二訂』(第一学習社) 『ベストセクション 2021 大学共通テスト 倫理重要問題集』(実教出版) 『2020 新政治・経済資料 三訂版』(実教出版) 『ベストセクション 2021 大学入学共通テスト 政治・経済重要問題集』(実教出版)

1. 学習の目標

<p>人間尊重と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p> <p>1. 民主主義の本質について理解を深めるとともに、理論的・体系的に理解する。</p> <p>2. 現代の政治、経済、国際関係などについて客観的に理解する。</p> <p>3. 1・2の理解を踏まえて現代の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を育成する。</p>

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
<p>思想に対する関心や、意欲を高めることができたか。意欲的に学習課題に取り組んでいたか。</p> <p>現代の政治、経済、国際関係に対して関心を高め、意欲的に課題を追究し、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進を図るため客観的に考察しようとしている。</p>	<p>取り上げた先哲を、歴史的状況の中で理解することができたか。</p> <p>現代の政治、経済、国際関係に関する諸課題を発見し、その本質や特質、さらには望ましい解決の在り方について広い視野に立ち、多面的・多角的に考察するとともに、様々な立場を踏まえて公正な判断をしている。</p>	<p>学習の中で追求し、考察した過程や結果について、適切に表現する方法を身につけることができたか。</p> <p>現代の政治、経済、国際関係に関する諸資料を様々なメディアにより収集し、有用な情報を主体的に選択・活用するとともに、それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現していくことができる。</p>	<p>政治・経済・社会・生活など様々な観点から歴史的事象を理解し、その知識を身につけることが出来たか。</p> <p>現代の政治、経済、国際関係に関する諸資料を様々なメディアにより収集し、有用な情報を主体的に選択・活用するとともに、それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現していくことができる。</p>

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	(動画配信授業) 人間としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> ・神話的世界観に対して疑問を抱く人々が始めた自然哲学時代について学ぶ。 ・ミレトス学派を中心に万物の根源は何であるかという事を模索した自然哲学者たちを学び、概観する。 ・自然哲学者の一部としてとらえられる向きもあるが、直接民主制下でのポリスにおいては、自らの弁論術を卓越させるために、ソフィストが台頭したことを理解し、その思想について理解する。 ・相対主義や感覚主義を唱えるソフィストに対し、問答法と呼ばれる手法で真の知に迫ろうとしたソクラテスについて学ぶ。 ・ソクラテスに師事していた弟子のうち、最も信頼されていたプラトンについて学ぶ。彼の最も特徴的な思想である「イデア論」について学ぶ。 ・幼少より天才と称され、のちに「万学の祖」とも称されるアリストテレスについて学ぶ。師のプラトンの理想主義に反対し、個物の実態はどこまでも現実の中に在るべきだという現実主義を学ぶ。 	定期試験 授業態度による
	5	(動画配信授業) 自然哲学とソフィスト		
	6	ソクラテス プラトン アリストテレス ヘレニズム思想		

2	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ポリス崩壊のため世界市民として生きていくことを余儀なくされた時代の個人主義と世界市民思想について学ぶ。 ・宗教分野では、歴史的・社会的背景をふまえ、基本的な内容を理解する。 ・キリスト教のアガペーや隣人愛の精神を通して、他者との親愛なる関係を構築すべく、豊かな心情を修得する。 ・ムハンマドによって唱えられたイスラームの教えとイスラーム社会の特色について理解する。 	定期試験 授業態度による		
	9	2. 宗教とは何か キリスト教 イスラーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスが近代の幕開けとなった運動であり、新たな人間像を提示し、人間中心主義を展開していったことを理解する。また、ルネサンスとともに宗教改革は近代を作り出すきっかけとなったことを理解し、プロテスタンティズムの自律の精神は、市民社会の成立などののちの歴史に大きな影響を与え、現代の我々の生活にもその影響が見られることを発見する。 			
	10	第2編 第1章 現代に生きる人間の倫理 人間の尊厳 科学技術と人間	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパにおける中世末期から近世初期にかけての自然観の転換と経験論・合理論という近代科学や思想の源流となった学問の方法について理解する。 ・社会契約説が思想的ベースとなって近代民主社会が成立し、民主社会において人間の生き方が探求されたことや、人間の尊厳や社会性が考察されたことを、カントやヘーゲルの思想から学ぶ。 			
	11	民主社会と自由の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の資本主義経済がどのような歴史的経緯を経て成立しているのかを理解するとともに、資本主義経済の特徴についても捉える。 			
	12	第2編 第1章 現代経済のしくみと特質 経済活動の意義と経済体制 資本主義経済の発展と変容 経済活動の主体	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済と比較しながら社会主義経済とはどのような経済体制であるかを理解するとともに、今日の代表的な例として中国経済にも関心を向ける。 ・経済活動は人体の血液のように循環しており、非常に多くの個人や企業が関わりながら、生産と消費が繰り返されて成り立っている事を認識する。 ・現代の資本主義経済体制に求められているものは何かを捉える。 ・市場経済の持つメカニズムについて理解し、需給の動向が市場に与える影響について学ぶ。 			
	3	1			<ul style="list-style-type: none"> ・インフレとデフレの要因や、それによる社会全体への影響について学ぶ。 ・景気の変動が激しくなると経済が混乱する為、政府や金融が不況からの対策を講じる流れを俯瞰し、国民生活にそれぞれが及ぼす影響について考察する。 ・景気変動の要因について理解する。 ・財政活動による景気の調整や、国家予算の内訳、国債費の増加に伴う諸々の問題について理解する。 ・景気の変動が激しくなると経済が混乱する為、政府や金融が不況からの対策を講じる流れを俯瞰し、国民生活にそれぞれが及ぼす影響について考察する。 	定期試験 授業態度による
		2	市場経済のしくみ 物価の動向 財政のしくみと租税			
		3	金融のしくみと働き			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	4	2年1組

使用教科書	副教材
数学Ⅱ (数研出版)	サクシート数学Ⅱ+B (数研出版) はぎ取り式 練習ドリル数学Ⅱ 標準編 (数研出版)

1. 学習の目標

方程式・式と証明, 図形と方程式, 三角関数, 指数関数・対数関数, 微分と積分について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとする。	数学的な見方や考え方を身につけ、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し、表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ問題を解決する。	基本的な概念、原理、法則、もしくは、用語・記号などの意味を理解し、基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	3章 図形と方程式 1節 点と直線 1. 直線上の点 2. 平面上の点	3章 1節・2節は動画・WEBテスト・課題プリント等で実施 数直線上の2点間の距離、線分の内分点, 外分点 2点間の距離、線分の内分点, 外分点の座標、点に関して対称な点 x, y の1次方程式の表す図形、直線の方程式 2直線の平行と垂直、2直線の関係と連立1次方程式の解、2直線の交点を通る直線の方程式、直線に関して対称な点、点と直線の距離、図形の性質の証明	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
		3. 直線の方程式 4. 2直線の関係		
	5	2節 円 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円	円の方程式、 $x^2+y^2+lx+my+n=0$ の表す図形 円と直線の共有点、円と直線の位置関係、円と接線の方程式 2つの円の位置関係、2つの円の共有点	
1	6	1章 式と証明 3. 整式の割り算 4 分数式とその計算 5. 恒等式 2節 等式と不等式の証明	組立除法 分数式の四則 恒等式の条件 正の数の大小と平方の大小、絶対値と不等式 相加平均と相乗平均	1 学期期末テスト
		7	2章 複素数と方程式 1. 複素数	
2	9	2. 2次方程式の解の判別式 3. 解と係数の関係 4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式	2次方程式の解、2次方程式の解の種類の判別 2次方程式の解と係数の関係、2次式の因数分解、2数を解とする2次方程式、2次方程式の実数解の符号 剰余の定理、因数定理 因数分解による 高次方程式の解法、 因数定理を利用する高次方程式の解法、高次方程式の解と係数	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等

3	10	3節 軌跡と領域 8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域	軌跡と方程式 直線を境界線とする領域、円を境界線とする領域、 連立不等式の表す領域、領域と最大・最小、 領域を用いた証明法	2学期中間試験
	11	4章 三角関数 1節 三角関数 1. 一般角と弧度法 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数の応用	一般角、動径の表す角、弧度法、扇形の弧の長さ と面積 一般角の三角関数、三角関数の相互関係 $\theta + 2n\pi$ の三角関数、 $\theta + \pi$ 、 $\theta + \pi/2$ の三角関数 $y = \sin \theta$ 、 $y = \cos \theta$ のグラフ、 $y = \tan \theta$ のグラフ、 三角関数のグラフの特徴、いろいろな三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式、不等式、 三角関数を含む関数の最大値、最小値	
	12	2節 加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成	正弦、余弦の加法定理、正接の加法定理、2直線のなす角 2倍角の公式、半角の公式、三角関数を含む方程式、不等式 三角関数の合成、三角関数の合成の応用	2学期期末試験
	1	5章 指数関数と 対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数	0や負の整数の指数、累乗根、有理数の指数、無理数の指数 指数関数のグラフ、指数関数の性質 対数、対数の性質、底の変換公式 対数関数のグラフ、対数関数の性質、 対数関数を含む方程式、不等式、 対数関数を含む関数の最大値・最小値 常用対数、常用対数の応用	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	2	6章 微分法と積分法 1節 微分係数と 導関数 1. 微分係数 2. 導関数	平均の速さと瞬間の速さ、平均変化率と微分係数、 極限值と微分係数、微分係数の図形的な意味 導関数、導関数の性質、変数が x, y でない場合の導関数	
	3	2節 導関数の応用 3. 接線 4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値 6. 関数のグラフと 方程式・不等式 3節 積分法 7. 不定積分 8. 定積分 9. 面積	接線の方程式、曲線上にない点から曲線に引いた接線の方程式 関数の増減、関数の極大、極小 最大値・最小値 方程式の実数解の個数、不等式の証明 導関数と不定積分、不定積分の性質 面積と不定積分、定積分、定積分の性質、定積分と微分法 曲線と x 軸の間の面積、2つの曲線の間の面積、 絶対値のついた関数の定積分、 曲線と接線で囲まれた図形の面積	

※ 上記の内容は、進度、感染症等によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ (文系総進)	4	2年2組～5組

使用教科書	副教材
数学Ⅱ (数研出版)	サクシート数学Ⅱ+B (数研出版) はぎ取り式 練習ドリル数学Ⅱ 標準編 (数研出版)

1. 学習の目標

図形と方程式, 三角関数, 指数関数・対数関数, 微分と積分について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとする。	数学的な見方や考え方を身につけ、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し、表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけて問題を解決する。	基本的な概念、原理、法則、もしくは、用語・記号などの意味を理解し、基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	3章 図形と方程式 1節 点と直線	(4, 5月は動画による映像授業) 数直線上の2点間の距離、線分の内分点, 外分点	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	5	1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の関係	2点間の距離、線分の内分点, 外分点の座標、点に関して対称な点 x, yの1次方程式の表す図形、直線の方程式 2直線の平行と垂直、2直線の関係と連立1次方程式の解、2直線の交点を通る直線の方程式、直線に関して対称な点、点と直線の距離、図形の性質の証明	
		2節 円 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円	円の方程式、 $x^2+y^2+lx+my+n=0$ の表す図形 円と直線の共有点、円と直線の位置関係、円と接線の方程式 2つの円の位置関係、2つの円の共有点	
	6	3節 軌跡と領域 8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域	軌跡と方程式 直線を境界線とする領域、円を境界線とする領域、連立不等式の表す領域、領域と最大・最小、領域を用いた証明法	
	7	4章 三角関数 1節 三角関数	一般角、動径の表す角、弧度法、扇形の弧の長さとの面積 一般角の三角関数、三角関数の相互関係	
		1. 一般角と弧度法 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数の応用	$\theta+2n\pi$ の三角関数、 $\theta+\pi$, $\theta+\pi/2$ の三角関数 $y=\sin\theta$, $y=\cos\theta$ のグラフ、 $y=\tan\theta$ のグラフ、三角関数のグラフの特徴、いろいろな三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式、不等式、三角関数を含む関数の最大値, 最小値	

2	9	2節 加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成	正弦, 余弦の加法定理、正接の加法定理、2直線のなす角 2倍角の公式、半角の公式、三角関数を含む方程式, 不等式 三角関数の合成、三角関数の合成の応用	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	10	5章 指数関数と 対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 3. 対数とその性質	0や負の整数の指数、累乗根、有理数の指数、無理数の指数 指数関数のグラフ、指数関数の性質 対数、対数の性質、底の変換公式 対数関数のグラフ、対数関数の性質、 対数関数を含む方程式, 不等式、	
	11	4. 対数関数 5. 常用対数	対数関数を含む関数の最大値・最小値 常用対数、常用対数の応用	
3	12	6章 微分法と積分法 1節 微分係数と 導関数 1. 微分係数 2. 導関数	平均の速さと瞬間の速さ、平均変化率と微分係数、 極限值と微分係数、微分係数の図形的な意味 導関数、導関数の性質、変数が x, y でない場合の導関数	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
		1	2節 導関数の応用 3. 接線 4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値 6. 関数のグラフと 方程式・不等式	
	2	3節 積分法 7. 不定積分 8. 定積分 9. 面積	導関数と不定積分、不定積分の性質 面積と不定積分、定積分、定積分の性質、定積分と微分法 曲線と x 軸の間の面積、2つの曲線の間の面積、 絶対値のついた関数の定積分、 曲線と接線で囲まれた図形の面積	
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ(文系特進)	4	2年9組

使用教科書	副教材
数学Ⅱ(数研出版)	サクシード数学Ⅱ+B(数研出版) チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)

1. 学習の目標

図形と方程式, 三角関数, 指数関数・対数関数, 微分と積分について理解し, 基本的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能力を身につけるとともに, 数学的な見方や考え方の重要性を認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとする。	数学的な見方や考え方を身につけ, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し, 表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけて問題を解決する。	基本的な概念, 原理・法則, もしくは, 用語・記号などの意味を理解し, 基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	【数学Ⅱ】 第3章 図形と方程式 1節 点と直線 1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の関係	(4月5月は動画配信) 数直線上の2点間の距離, 線分の内分点, 外分点 2点間の距離, 線分の内分点, 外分点の座標, 点に関して対称な点 x, y の1次方程式の表す図形, 直線の方程式 2直線の平行と垂直, 2直線の関係と連立1次方程式の解, 2直線の交点を通る直線の方程式, 直線に関して対称な点, 点と直線の距離, 図形の性質の証明	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	5	2節 円 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円 3節 軌跡と領域 8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域	円の方程式, $x^2+y^2+lx+my+n=0$ の表す図形 円と直線の共有点, 円と直線の位置関係, 円の接線の方程式 2つの円の位置関係, 2つの円の共有点 直線を境界線とする領域, 円を境界線とする領域, 連立不等式の表す領域, 領域と最大・最小, 領域を利用した証明法	
	6	第4章 三角関数 1節 三角関数 1. 一般角と弧度法 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数の応用	一般角, 動径の表す角, 弧度法, 扇形の弧の長さとの面積 一般角の三角関数, 三角関数の相互関係 $\theta+2n\pi, -\theta, \theta+\pi, \theta+\pi/2$ の三角関数 $y=\sin\theta, y=\cos\theta, y=\tan\theta$ のグラフ, 三角関数のグラフの特徴, いろいろな三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式・不等式, 三角関数を含む関数の最大値・最小値	
	7	2節 加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成	正弦・余弦・正接の加法定理, 2直線のなす角 2倍角の公式, 半角の公式, 三角関数を含む方程式・不等式 三角関数の合成, 三角関数の合成の応用	

2	9	第5章 指数関数・対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数	0や負の整数の指数, 累乗根, 有理数の指数, 無理数の指数 指数関数のグラフ, 指数関数の性質 対数, 対数の性質, 底の変換公式 対数関数のグラフ, 対数関数の性質, 対数関数を含む方程式・不等式, 対数関数を含む関数の最大値・最小値 常用対数, 常用対数の応用	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	10	第6章 微分法と積分法 1節 微分係数と導関数 1. 微分係数	平均の速さと瞬間の速さ, 平均変化率と微分係数, 極限值と微分係数, 微分係数の図形的な意味 導関数, 導関数の性質, 変数が x, y でない場合の導関数	
	11	2節 導関数の応用 3. 接線 4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値 6. 関数のグラフと 方程式・不等式	接線の方程式, 曲線上にない点から曲線に引いた接線の方程式 関数の増減, 関数の極大・極小 方程式の実数解の個数, 不等式の証明	
	12	3節 積分法 7. 不定積分 8. 定積分 9. 面積	導関数と不定積分, 不定積分の性質 面積と不定積分, 定積分, 定積分の性質, 定積分と微分法 曲線と x 軸の間の面積, 2つの曲線の間の面積, 絶対値のついた関数の定積分, 曲線と接線で囲まれた図形の面積	
3	1	【入試に向けた演習】	I・A・II・Bの総合演習	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	2			
	3			

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ (理系総進)	5	2年6組～8組

使用教科書	副教材
数学Ⅱ (数研出版) 数学Ⅲ (数研出版)	サクシード数学Ⅱ+B, Ⅲ (数研出版) はぎ取り式練習ドリル 数学Ⅱ, Ⅲ標準編 (数研出版)

1. 学習の目標

図形と方程式, 三角関数, 指数関数・対数関数, 微分と積分について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を身につけるとともに、数学的な見方や考え方の重要性を認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとする。	数学的な見方や考え方を身につけ, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し, 表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけて問題を解決する。	基本的な概念, 原理, 法則, もしくは, 用語・記号などの意味を理解し, 基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	【数学Ⅱ】 第3章 図形と方程式 1節 点と直線 1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の関係	第3章・第4章1節、2節は動画・課題プリント等により学習 数直線上の2点間の距離, 線分の内分点・外分点 2点間の距離, 線分の内分点・外分点の座標, 点に関して対称な点 x, y の1次方程式の表す図形, 直線の方程式 2直線の平行と垂直, 2直線の関係と連立1次方程式の解, 2直線の交点を通る直線の方程式, 直線に関して対称な点, 点と直線の距離, 図形の性質の証明, 円の方程式, $x^2+y^2+lx+my+n=0$ の表す図形, 円と直線の共有点, 円と直線の位置関係, 円の接線の方程式 2つの円の位置関係, 2つの円の共有点,	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	5	2節 円 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円 3節 軌跡と領域 8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域	直線を境界とする領域, 円を境界とする領域, 連立不等式の洗 わず領域, 領域と最大・最小, 領域を利用した証明法 一般角, 動径の表す角, 弧度法, 扇形の弧の長さと同面積 一般角の三角関数, 三角関数の相互関係 $\theta+2n\pi, -\theta, \theta+\pi, \theta+\pi/2$ の三角関数 $y=\sin\theta, y=\cos\theta, y=\tan\theta$ のグラフ, 三角関数のグラフの特徴, いろいろな三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式・不等式, 三角関数を含む関数の最大値・最小値	
	6	第4章 三角関数 1節 三角関数 1. 一般角と弧度法 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数の応用 2節 加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成	正弦・余弦・正接の加法定理, 2直線のなす角 2倍角の公式, 半角の公式, 三角関数を含む方程式・不等式 三角関数の合成, 三角関数の合成の応用 4時間にわたって課題プリントの復習	

2	7	第5章 指数関数・対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数	0や負の整数の指数, 累乗根, 有理数の指数, 無理数の指数 指数関数のグラフ, 指数関数の性質,	1 学期期末試験
	9	3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数	対数, 対数の性質, 底の変換公式 対数関数のグラフ, 対数関数の性質, 対数関数を含む方程式・不等式, 対数関数を含む関数の最大値・最小値 常用対数, 常用対数の応用	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	10	第6章 微分法と積分法 1節 微分係数と導関数 1. 微分係数 2. 導関数 2節 導関数の応用 3. 接線 4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値 6. 関数のグラフと方程式・不等式	平均の速さと瞬間の速さ, 平均変化率と微分係数, 極限值と微分係数, 微分係数の図形的な意味 導関数, 導関数の性質, 変数が x, y でない場合の導関数 接線の方程式, 曲線上にない点から曲線に引いた接線の方程式 関数の増減, 関数の極大・極小 方程式の実数解の個数, 不等式の証明	2 学期中間試験
3	11	3節 積分法 7. 不定積分 8. 定積分	導関数と不定積分, 不定積分の性質 面積と不定積分, 定積分, 定積分の性質, 定積分と微分法 曲線と x 軸の間の面積, 2つの曲線の間の面積, 絶対値のついた関数の定積分, 曲線と接線で囲まれた図形面積	2 学期期末試験 授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	12	9. 面積		
	1	【数学Ⅲ】 第3章 関数 1. 分数関数 2. 無理関数 3. 逆関数と合成関数 第4章 極限 1節 数列の極限 1. 数列の極限 2. 無限等比数列 3. 無限級数 2節 関数の極限 4. 関数の極限 5. 三角関数と極限	$y=k/x$ のグラフ, $y=k/(x-p)+q$ のグラフ, $y=(ax+b)/(cx+d)$ のグラフ, 分数関数のグラフと直線の共有点 $y=\sqrt{ax}$ のグラフ, $y=\sqrt{ax+b}$ のグラフ, 無理関数のグラフと直線の共有点 逆関数, 逆関数の性質, 指数関数の逆関数, 合成関数 数列の収束と発散, 数列の極限の性質 無限等比数列の極限, 無限等比数列の極限の応用, 漸化式で定められる数列の極限 無限級数の収束と発散, 無限等比級数, 循環小数と無限等比級数, 無限級数の性質, 無限級数の収束・発散と項の極限 極限の計算 $\sin x/x$ の極限	3 学期期末試験

※ 上記の内容は, 進度・感染症の状況等によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	5	2年10組

使用教科書	副教材
数学Ⅱ (数研出版) 数学Ⅲ (数研出版)	サクシード数学Ⅱ+B, Ⅲ (数研出版) チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B, Ⅲ (数研出版)

1. 学習の目標

微分法と積分法, 関数, 極限, 微分法, 微分法の応用, 積分法, 積分法の応用について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能を身につけるとともに、数学的な見方や考え方の重要性を認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとする。	数学的な見方や考え方を身につけ、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し、表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけて問題を解決する。	基本的な概念, 原理, 法則, もしくは、用語・記号などの意味を理解し、基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	6章 微分法と積分法	(4月5月は動画配信)	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
		1節 微分係数と導関数		
		1. 微分係数	平均の速さと瞬間の速さ, 平均変化率と微分係数, 極限值と微分係数, 微分係数の図形的な意味, 関数の極限值	
		2. 導関数	導関数, 導関数の性質, 変数が x, y でない場合の導関数 関数 x の n 乗の導関数の公式の証明	
		2節 導関数の応用		
	5	3. 接線	接線の方程式, 曲線上にない点から曲線に引いた接線の方程式	
		4. 関数の値の変化	関数の増減, 関数の極大, 極小	
		5. 最大値・最小値		
	6	6. 関数のグラフと方程式・不等式	方程式の実数解の個数, 不等式の証明	
		3節 積分法		
		7. 不定積分	導関数と不定積分, 不定積分の性質	
		8. 定積分	面積と不定積分, 定積分, 定積分の性質, 定積分と微分法	
6	9. 面積	曲線と x 軸の間の面積, 2つの曲線の間の面積, 絶対値のついた関数の定積分, 曲線と接線で囲まれた図形の面積, 放物線と直線で囲まれた図形の面積, $x+\alpha$ の n 乗の微分と積分		
	3章 関数			
	1. 分数関数	$y=k/x$ のグラフ, $y=k/(x-p)+q$ のグラフ, $y=(ax+b)/(cx+d)$ のグラフ, 分数関数のグラフと直線の共有点		
	2. 無理関数	$y=\sqrt{ax}$ のグラフ, $y=\sqrt{ax+b}$ のグラフ, 無理関数のグラフと直線の共有点		
	3. 逆関数と合成関数	逆関数, 逆関数の性質, 指数関数の逆関数, 合成関数		
	4章 極限			
	1節 数列の極限			
	1. 数列の極限	数列の収束と発散, 数列の極限の性質		
2. 無限等比数列	無限等比数列の極限, 無限等比数列の極限の応用, 漸化式で定められる数列の極限			
3. 無限級数	無限級数の収束と発散, 無限等比級数, 循環小数と無限等比級数, 無限級数の性質, 無限級数の収束・発散と項の極限			

2	7	2節 関数の極限 4. 関数の極限	$x \rightarrow \alpha$ のときの関数の極限とその性質、極限の計算、極限が有限な値でない場合、関数の片側からの極限、 $x \rightarrow \infty$, $x \rightarrow -\infty$ のときの関数の極限、指数関数、対数関数の極限	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等		
	9	5. 三角関数と極限 6. 関数の連続性 5章 微分法 1. 微分係数と導関数 2. 導関数の計算 3. いろいろな関数の導関数	三角関数の極限、 $\sin x/x$ の極限、三角関数の極限の応用 関数の連続性、連続関数の性質、 微分係数、微分可能と連続、導関数 導関数の性質、積の導関数、商の導関数、合成関数の微分法 三角関数の導関数、対数関数の導関数、指数関数の導関数			
	10	4. 第 n 次導関数 5. 関数のいろいろな表し方と導関数 6章 微分法の応用 1節 導関数の応用 1. 接線と法線	方程式 $F(x, y)=0$ で定められる関数の導関数、媒介変数表示と導関数 曲線 $y=f(x)$ の接線と法線、共有点で同じ接線をもつ2つの曲線 $F(x, y)=0$ で表される曲線の接線と法線、方程式の重解と微分 平均値の定理、平均値の定理の利用、平均値の定理の証明 関数の増加と減少、関数の極大と極小			
	11	2. 平均値の定理 3. 関数の値の変化 4. 関数の最大と最小 5. 関数のグラフ 6. 方程式、不等式への応用	曲線の凹凸、関数のグラフの概形、第2次導関数と極限 不等式の証明、方程式の実数解の個数			
	12	2節 速度と近似式 7. 速度と加速度 8. 近似式	直線上の点の運動、平面上の点の運動 1次と2次の近似式			
	3	1	7章 積分法 1節 不定積分 1. 不定積分とその基本性質 2. 置換積分法 3. 部分積分法 4. いろいろな関数の不定積分		不定積分、不定積分の基本性質、三角関数、指数関数の不定積分 $f(ax+b)$ の不定積分、置換積分法、 $f(g(x))g'(x)$ の不定積分、 $g'(x)/g(x)$ の不定積分 分数関数の不定積分、三角関数に関する不定積分	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
		2	2節 定積分 5. 定積分とその基本性質 6. 定積分の置換積分法 7. 定積分の部分積分法 8. 定積分の種々の問題		定積分、定積分の性質、絶対値のついた関数の定積分 定積分の置換積分法、偶関数、奇関数の定積分 定積分で表された関数、定積分と和の極限、定積分と不等式	
		3	8章 積分法の応用 1. 面積 2. 体積 3. 曲線の長さ 4. 速度と道のり		曲線 $y=f(x)$ で定まる図形の面積、 曲線 $x=g(y)$ で定まる図形の面積、曲線で囲まれた図形の面積 媒介変数表示と面積 定積分と体積、回転体の体積、一般の回転体の体積 媒介変数表示された曲線の長さ、曲線 $y=f(x)$ の長さ 直線上を運動する点の道のり、平面上を運動する点の道のり 微分方程式	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	4	2年11組

使用教科書	副教材
数学Ⅱ (数研出版) 数学Ⅲ (数研出版)	サクシード数学Ⅱ+B, Ⅲ (数研出版) チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B, Ⅲ (数研出版)

1. 学習の目標

微分法と積分法, 関数, 極限, 微分法, 微分法の応用, 積分法, 積分法の応用について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能を身につけるとともに、数学的な見方や考え方の重要性を認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとする。	数学的な見方や考え方を身につけ、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し、表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけて問題を解決する。	基本的な概念, 原理, 法則, もしくは、用語・記号などの意味を理解し、基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	6章 微分法と積分法 1節 微分係数と導関数 1. 微分係数 2. 導関数 2節 導関数の応用 3. 接線 4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値	(4月5月は動画配信) 平均の速さと瞬間の速さ, 平均変化率と微分係数, 極限值と微分係数, 微分係数の図形的な意味, 関数の極限值 導関数, 導関数の性質, 変数が x, y でない場合の導関数 関数 x の n 乗の導関数の公式の証明 接線の方程式, 曲線上にない点から曲線に引いた接線の方程式 関数の増減, 関数の極大, 極小	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	5	6. 関数のグラフと方程式・不等式 3節 積分法 7. 不定積分 8. 定積分 9. 面積	方程式の実数解の個数, 不等式の証明 導関数と不定積分, 不定積分の性質 面積と不定積分, 定積分, 定積分の性質, 定積分と微分法 曲線と x 軸の間の面積, 2つの曲線の間の面積, 絶対値のついた関数の定積分, 曲線と接線で囲まれた図形の面積, 放物線と直線で囲まれた図形の面積, $x+\alpha$ の n 乗の微分と積分	
	6	3章 関数 1. 分数関数 2. 無理関数 3. 逆関数と合成関数 4章 極限 1節 数列の極限 1. 数列の極限 2. 無限等比数列 3. 無限級数	$y=k/x$ のグラフ, $y=k/(x-p)+q$ のグラフ, $y=(ax+b)/(cx+d)$ のグラフ, 分数関数のグラフと直線の共有点 $y=\sqrt{ax}$ のグラフ, $y=\sqrt{ax+b}$ のグラフ, 無理関数のグラフと直線の共有点 逆関数, 逆関数の性質, 指数関数の逆関数, 合成関数 数列の収束と発散, 数列の極限の性質 無限等比数列の極限, 無限等比数列の極限の応用, 漸化式で定められる数列の極限 無限級数の収束と発散, 無限等比級数, 循環小数と無限等比級数, 無限級数の性質, 無限級数の収束・発散と項の極限	

2	7	2節 関数の極限 4. 関数の極限	$x \rightarrow \alpha$ のときの関数の極限とその性質、極限の計算、極限が有限な値でない場合、関数の片側からの極限、 $x \rightarrow \infty$, $x \rightarrow -\infty$ のときの関数の極限、指数関数、対数関数の極限	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等	
	9	5. 三角関数と極限 6. 関数の連続性 5章 微分法 1. 微分係数と導関数 2. 導関数の計算 3. いろいろな関数の導関数	三角関数の極限、 $\sin x/x$ の極限、三角関数の極限の応用 関数の連続性、連続関数の性質、 微分係数、微分可能と連続、導関数 導関数の性質、積の導関数、商の導関数、合成関数の微分法 三角関数の導関数、対数関数の導関数、指数関数の導関数		
	10	4. 第 n 次導関数 5. 関数のいろいろな表し方と導関数 6章 微分法の応用 1節 導関数の応用 1. 接線と法線	方程式 $F(x, y)=0$ で定められる関数の導関数、媒介変数表示と導関数 曲線 $y=f(x)$ の接線と法線、共有点で同じ接線をもつ2つの曲線 $F(x, y)=0$ で表される曲線の接線と法線、方程式の重解と微分 平均値の定理、平均値の定理の利用、平均値の定理の証明 関数の増加と減少、関数の極大と極小		
	11	2. 平均値の定理 3. 関数の値の変化 4. 関数の最大と最小 5. 関数のグラフ 6. 方程式、不等式への応用	曲線の凹凸、関数のグラフの概形、第2次導関数と極限 不等式の証明、方程式の実数解の個数		
	3	12	2節 速度と近似式 7. 速度と加速度 8. 近似式 7章 積分法 1節 不定積分 1. 不定積分とその基本性質		直線上の点の運動、平面上の点の運動 1次と2次の近似式 不定積分、不定積分の基本性質、三角関数、指数関数の不定積分
		1	2. 置換積分法 3. 部分積分法 4. いろいろな関数の不定積分		$f(ax+b)$ の不定積分、置換積分法、 $f(g(x))g'(x)$ の不定積分、 $g'(x)/g(x)$ の不定積分 分数関数の不定積分、三角関数に関する不定積分
		2	2節 定積分 5. 定積分とその基本性質 6. 定積分の置換積分法		定積分、定積分の性質、絶対値のついた関数の定積分 定積分の置換積分法、偶関数、奇関数の定積分
		3	7. 定積分の部分積分法 8. 定積分の種々の問題 8章 積分法の応用 1. 面積		定積分で表された関数、定積分と和の極限、定積分と不等式 曲線 $y=f(x)$ で定まる図形の面積、 曲線 $x=g(y)$ で定まる図形の面積、曲線で囲まれた図形の面積 媒介変数表示と面積
		3	2. 体積 3. 曲線の長さ 4. 速度と道のり		定積分と体積、回転体の体積、一般の回転体の体積 媒介変数表示された曲線の長さ、曲線 $y=f(x)$ の長さ 直線上を運動する点の道のり、平面上を運動する点の道のり 微分方程式

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学B	2	2年1組

使用教科書	副教材
数学B (数研出版)	サクシード数学Ⅱ+B (数研出版) はぎ取り式 練習ドリル数学B標準編 (数研出版)

1. 学習の目標

平面上のベクトル, 空間のベクトル, 数列について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとする。	数学的な見方や考え方を身につけ、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し、表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけて問題を解決する。	基本的な概念、原理、法則、もしくは、用語・記号などの意味を理解し、基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1章 平面上のベクトル	(4月5月は動画配信)	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
		1節 平面上のベクトルとその演算		
1	5	1. 平面上のベクトル	有向線分とベクトル, ベクトルの相等 ベクトルの加法, 逆ベクトルと零ベクトル, ベクトルの減法, ベクトルの実数倍, ベクトルの平行, ベクトルの分解 ベクトルの成分, 成分によるベクトルの演算, 点の座標とベクトルの成分 ベクトルの内積, 内積と成分, ベクトルのなす角, 内積の性質, 三角形の面積	
		2. ベクトルの演算		
1	6	3. ベクトルの成分	位置ベクトル, 線分の内分点・外分点の位置ベクトル, 三角形の重心の位置ベクトル 一直線上の点, 2直線の交点, 内積の利用 直線と方向ベクトル, 異なる2点を通る直線のベクトル方程式, 平面上の点の存在範囲, 直線と法線ベクトル, 円のベクトル方程式, 点と直線の距離, 点の存在範囲の図示	
		4. ベクトルの内積		
1	7	2節 ベクトルと平面図形	空間の点の座標, 2点間の距離 空間のベクトル, ベクトルの分解 ベクトルの成分, 成分によるベクトルの演算, 点の座標とベクトルの成分	
		5. 位置ベクトル		
2	9	6. ベクトルと図形	一直線上の点, 同じ平面上にある点, 内積の利用, 座標空間における直線 線分の内分点・外分点の座標, 座標軸に垂直な平面の方程式, 球面の方程式, 平面の方程式, 直線の方程式	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
		7. ベクトル方程式		
2	9	2章 空間のベクトル		
		1. 空間の座標		
2	9	2. 空間のベクトル		
		3. ベクトルの成分		
2	9	4. ベクトルの内積		
		5. 位置ベクトル		
2	9	6. ベクトルと図形		
		7. 座標空間における図形		

3	10	3章 数列 1節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列とその和	等差数列, 等差数列の性質, 等差数列の和, いろいろな自然数の数列の和 等比数列, 等比数列の和, 複利計算と等比数列 累乗の和, 和の記号 Σ , Σ の性質 階差数列, 数列の和と一般項 和の求め方の工夫, 群数列 漸化式, 漸化式で定められる数列の一般項, 漸化式的应用, 確率と漸化式, 隣接3項間の漸化式, 2つの数列の漸化式 数学的帰納法による等式の証明, 数学的帰納法による整数の性質の証明, 数学的帰納法による不等式の証明, 漸化式と数学的帰納法	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	11	3. 等比数列とその和		
	12	4. 和の記号 Σ 5. 階差数列 6. いろいろな 数列の和		
	1	2節 数学的帰納法		
	2	7. 漸化式と数列		
	3	8. 数学的帰納法		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学B (文系総進)	2	2年2組～5組

使用教科書	副教材
数学B (数研出版)	サクシード数学Ⅱ+B (数研出版) はぎ取り式 練習ドリル数学B標準編 (数研出版)

1. 学習の目標

平面上のベクトル, 空間のベクトル, 数列について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとする。	数学的な見方や考え方を身につけ、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し、表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけて問題を解決する。	基本的な概念、原理、法則、もしくは、用語・記号などの意味を理解し、基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1章 平面上のベクトル	(4月5月は動画配信)	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
		1節 平面上のベクトルとその演算		
		1. 平面上のベクトル		
		2. ベクトルの演算		
		3. ベクトルの成分		
		4. ベクトルの内積		
		2節 ベクトルと平面図形		
	5. 位置ベクトル			
	5	6. ベクトルと図形		
		7. ベクトル方程式		
2章 空間のベクトル				
6	1. 空間の座標	空間の点の座標, 2点間の距離 空間のベクトル, ベクトルの分解 ベクトルの成分, 成分によるベクトルの演算, 点の座標とベクトルの成分		
	2. 空間のベクトル			
	3. ベクトルの成分			
	4. ベクトルの内積			
	5. 位置ベクトル			
	6. ベクトルと図形			
	7. 座標空間における図形			
2	9	1. 空間の座標	一直線上の点, 同じ平面上にある点, 内積の利用, 座標空間における直線 線分の内分点・外分点の座標, 座標軸に垂直な平面の方程式, 球面の方程式, 平面の方程式, 直線の方程式	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
		2. 空間のベクトル		
		3. ベクトルの成分		
		4. ベクトルの内積		
		5. 位置ベクトル		
		6. ベクトルと図形		
		7. 座標空間における図形		

3	10	3章 数列 1節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列とその和	等差数列, 等差数列の性質, 等差数列の和, いろいろな自然数の数列の和 等比数列, 等比数列の和, 複利計算と等比数列 累乗の和, 和の記号 Σ , Σ の性質 階差数列, 数列の和と一般項 和の求め方の工夫, 群数列 漸化式, 漸化式で定められる数列の一般項, 漸化式的应用, 確率と漸化式, 隣接3項間の漸化式, 2つの数列の漸化式 数学的帰納法による等式の証明, 数学的帰納法による整数の性質の証明, 数学的帰納法による不等式の証明, 漸化式と数学的帰納法	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	11	3. 等比数列とその和		
	12	4. 和の記号 Σ 5. 階差数列 6. いろいろな 数列の和		
	1	2節 数学的帰納法		
	2	7. 漸化式と数列		
	3	8. 数学的帰納法		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学B(文系特進)	2	2年9組

使用教科書	副教材
数学B(数研出版)	サクシード II+B(数研出版) チャート式基礎からの数学II+B(数研出版)

1. 学習の目標

平面上のベクトル, 空間のベクトル, 数列, 複素数平面, 式と曲線について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を身につけるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとする。	数学的な見方や考え方を身につけ、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し、表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ問題を解決する。	基本的な概念、原理、法則、もしくは、用語・記号などの意味を理解し、基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法	
1	4	1章 平面上のベクトル	※4、5月は動画配信により対応する	動画視聴 授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等	
		1節 平面上のベクトルとその演算	プリントにて対応する		
		2節 ベクトルと平面図形			
		5. 位置ベクトル	位置ベクトル, 線分の内分点・外分点の位置ベクトル 三角形の重心の位置ベクトル		
	5	6. ベクトルと図形	一直線上の点, 2直線の交点, 内積の利用 直線と方向ベクトル		
		7. ベクトル方程式	異なる2点を通る直線のベクトル方程式 平面上の点の存在範囲、直線と法線ベクトル、円のベクトル方程式		
		2章 空間のベクトル			
		6	1. 空間の座標		空間の点の座標、2点間の距離
			2. 空間のベクトル		空間のベクトル、ベクトルの分解
			7		3. ベクトルの成分
4. ベクトルの内積	ベクトルの内積				
2	9	5. 位置ベクトル	位置ベクトル	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等	
		6. ベクトルと図形	一直線上の点、同じ平面上にある点、内積の利用 座標空間における直線		
	10	7. 座標空間における図形	線分の内分点・外分点の座標、座標軸に垂直な平面の方程式、球面の方程式		

	11	3章 数列 1節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列とその和 3. 等比数列とその和 4. 和の記号 Σ	数列 等差数列、等差数列の性質、等差数列の和、 いろいろな自然数の数列の和 等比数列、等比数列の和 累乗の和、和の記号 Σ 、 Σ の性質	
	12	5. 階差数列	階差数列、数列の和と一般項	
3	1 2 3	6. いろいろな数列の和 2節 数学的帰納法 7. 漸化式と数列 8. 数学的帰納法 総合復習	和の求め方の工夫、群数列 漸化式、漸化式で定められる数列の一般項、漸化式の応用 数学的帰納法による等式の証明、 数学的帰納法による整数の性質の証明 数学的帰納法による不等式の証明、漸化式と数学的帰納法	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学B (理系総進)	3	2年6~8組

使用教科書	副教材
数学B (数研出版) 数学III (数研出版)	サクシード II+B, III (数研出版) はぎ取り式 練習ドリル数学B, III 標準編 (数研出版)

1. 学習の目標

平面上のベクトル, 空間のベクトル, 数列, 複素数平面, 式と曲線について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとする。	数学的な見方や考え方を身につけ、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し、表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけて問題を解決する。	基本的な概念、原理、法則、もしくは、用語・記号などの意味を理解し、基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1章 平面上のベクトル 1節 平面上のベクトルとその演算	(4月5月は動画配信)	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	5	1. 平面上のベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 2節 ベクトルと平面図形 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形 7. ベクトル方程式	有向線分とベクトル, ベクトルの相等 ベクトルの加法, 逆ベクトルと零ベクトル, ベクトルの減法, ベクトルの実数倍, ベクトルの平行, ベクトルの分解 ベクトルの成分, 成分によるベクトルの演算, 点の座標とベクトルの成分 ベクトルの内積, 内積と成分, ベクトルのなす角, 内積の性質, 三角形の面積 位置ベクトル, 線分の内分点・外分点の位置ベクトル, 三角形の重心の位置ベクトル 一直線上の点, 2直線の交点, 内積の利用 直線と方向ベクトル, 異なる2点を通る直線のベクトル方程式, 平面上の点の存在範囲, 直線と法線ベクトル, 円のベクトル方程式, 点と直線の距離, 点の存在範囲の図示	
1	6	2章 空間のベクトル 1. 空間の座標 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形	空間の点の座標, 2点間の距離 空間のベクトル, ベクトルの分解 ベクトルの成分, 成分によるベクトルの演算, 点の座標とベクトルの成分 一直線上の点, 同じ平面上にある点, 内積の利用, 座標空間における直線	
	7	7. 座標空間における図形	線分の内分点・外分点の座標, 座標軸に垂直な平面の方程式, 球面の方程式, 平面の方程式, 直線の方程式	

2	9	3章 数列	<p>等差数列, 等差数列の性質, 等差数列の和, いろいろな自然数の数列の和</p> <p>等比数列, 等比数列の和, 複利計算と等比数列</p> <p>累乗の和, 和の記号Σ, Σの性質</p> <p>階差数列, 数列の和と一般項</p> <p>和の求め方の工夫, 群数列</p>	<p>授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等</p>	
		1節 数列とその和			
		1. 数列			
		2. 等差数列とその和			
		3. 等比数列とその和			
		4. 和の記号 Σ			
		5. 階差数列			
		6. いろいろな数列の和			
	10	2節 数学的帰納法	<p>漸化式, 漸化式で定められる数列の一般項, 漸化式的应用, 確率と漸化式, 隣接3項間の漸化式, 2つの数列の漸化式</p> <p>数学的帰納法による等式の証明, 数学的帰納法による整数の性質の証明, 数学的帰納法による不等式の証明, 漸化式と数学的帰納法</p>		
		7. 漸化式と数列			
		8. 数学的帰納法			
11	1章 複素数平面	<p>複素数平面, 複素数の実数倍, 複素数の加法, 減法, 共役な複素数, 絶対値と2点間の距離</p> <p>極形式, 複素数の乗法, 除法, 複素数の積と商の図形的な意味</p> <p>ド・モアブルの定理, n乗根</p> <p>線分の内分点, 外分点, 方程式の表す図形, 一般の点を中心とする回転, 半直線のなす角, $w=1/z$ が描く図形</p>			
	1. 複素数平面				
	2. 複素数の極形式と乗法, 除法				
	3. ド・モアブルの定理				
12	4. 複素数と図形				
3	12	2章 式と曲線	<p>放物線の方程式, y軸を軸とする放物線</p> <p>楕円の方程式, 焦点がy軸上にある楕円, 円と楕円, 軌跡と楕円</p> <p>双曲線の方程式, 焦点がy軸上にある双曲線, 直角双曲線</p> <p>曲線$F(x, y)=0$の平行移動, $ax^2+by^2+cx+dy+e=0$の表す図形, 直角双曲線$xy=1$</p> <p>2次曲線と直線の共有点, 2次曲線の接線の方程式, 接線の方程式の一般形</p>	<p>授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等</p>	
		1節 2次曲線			
	1	1. 放物線			
		2. 楕円			
		3. 双曲線			
		4. 2次曲線の平行移動			
	2	5. 2次曲線と直線			
		6. 2次曲線の性質			
	3	2節 媒介変数表示と極座標			<p>媒介変数表示, 直線群と媒介変数表示, 一般角θを用いた円の媒介変数表示, 楕円の媒介変数表示, 双曲線の媒介変数表示, 媒介変数で表された曲線の平行移動, サイクロイド, いろいろな曲線の媒介変数表示</p> <p>極座標, 極座標と直交座標の関係, 極方程式, 2次曲線の極方程式</p> <p>媒介変数で表された曲線, 極方程式で表された曲線</p>
		7. 曲線の媒介変数表示			
8. 極座標と極方程式					
9. コンピューターといろいろな曲線					

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

令和2年度 数 学 科 シラバス (高等学校)

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学B(理系特進)	3	2年10組

使用教科書	副教材
数学B (数研出版) 数学Ⅲ (数研出版)	サクシード 数学Ⅱ+B, Ⅲ (数研出版) はぎ取り式 練習ドリル数学B, Ⅲ (数研出版) チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B, Ⅲ (数研出版)

1. 学習の目標

ベクトルや数列, 複素数平面や式と曲線について理解し, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに, それらを活用する態度を育てる。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して, ベクトル, 数列, 複素数平面, 式と曲線の考えにおける考え方に関心をもつとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識し, それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して, ベクトル, 数列, 複素数平面, 式と曲線の考えにおける数学的な見方や考え方を身につけ, 事象を数学的にとらえ, 論理的に考察するとともに過程を振り返り多面的・発展的に考える。	ベクトル, 数列, 複素数平面, 式と曲線の考えにおいて, 事象を数学的に考察し, 表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ, 的確に問題を解決する。	ベクトル, 数列, 複素数平面, 式と曲線の考えにおける基本的な概念, 原理・法則, 用語・記号などを理解し, 基礎的な知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	6	【数学B】 7. ベクトル方程式	(4月5月は動画配信) 直線と方向ベクトル, 異なる2点を通る直線のベクトル方程式, 平面上の点の存在範囲, 直線と法線ベクトル, 円のベクトル方程式, 点と直線の距離, 点の存在範囲の図示	小テスト 提出物 等
		2章 空間のベクトル 1. 空間の座標 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形	空間の点の座標, 2点間の距離 空間のベクトル, ベクトルの分解 ベクトルの成分, 成分によるベクトルの演算, 点の座標とベクトルの成分	
2	9	7. 座標空間における図形	一直線上の点, 同じ平面上にある点, 内積の利用, 座標空間における直線 線分の内分点・外分点の座標, 座標軸に垂直な平面の方程式, 球面の方程式, 平面の方程式, 直線の方程式	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
		3章 数列 1節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列とその和	等差数列, 等差数列の性質, 等差数列の和, いろいろな自然数の数列の和	
	10	3. 等比数列とその和 4. 和の記号Σ 5. 階差数列 6. いろいろな数列の和	等比数列, 等比数列の和 累乗の和, 和の記号Σ, Σの性質 階差数列, 数列の和と一般項 和の求め方の工夫, 群数列	
		2節 数学的帰納法 7. 漸化式と数列 8. 数学的帰納法	漸化式, 漸化式で定められる数列の一般項, 漸化式の応用, 確率と漸化式, 隣接3項間の漸化式, 2つの数列の漸化式 数学的帰納法による等式の証明, 数学的帰納法による整数の性質の証明, 数学的帰納法による不等式の証明, 漸化式と数学的	

3	11	【数学Ⅲ】 第1章 複素数平面 1. 複素数平面	帰納法 複素数平面, 複素数の実数倍, 複素数の加法減法, 共役な複素数, 絶対値と2点間の距離	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	12	2. 複素数の極形式 と乗法, 除法	極形式, 複素数の乗法除法, 複素数の積と商の図形的な意味	
	1	3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形	ド・モアブルの定理, n乗根, 線分の内分点外分点, 方程式の表す図形, 一般の点を中心とする回転, 半直線のなす角, $w=1/z$ が描く図形	
		第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 1. 放物線 2. 楕円	放物線の方程式, y軸を軸とする放物線 楕円の方程式, 焦点がy軸上にある楕円, 円と楕円, 軌跡と楕円	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	2	3. 双曲線 4. 2次曲線の 平行移動 5. 2次曲線と直線	双曲線の方程式, 焦点がy軸上にある双曲線, 直角双曲線 曲線の平行移動, $ax^2+by^2+cx+dy+e=0$ の表す図形 2次曲線と直線の共有点, 2次曲線の接線の方程式, 接線の方程式の一般形	
		6. 2次曲線の性質 第2節 媒介変数 表示と極座標		
	3	7. 曲線の 媒介変数表示	媒介変数表示, 直線群と媒介変数表示, 一般角を用いた円の媒介変数表示, 楕円の媒介変数表示, 双曲線の媒介変数表示, 媒介変数で表示された曲線の平行移動, サイクロイド, いろいろな曲線の媒介変数表示	
		8. 極座標と極方程式	極座標, 極座標と直交座標の関係, 極方程式, 2次曲線の極方程式	
		9. コンピュータと いろいろな曲線	媒介変数で表された曲線, 極方程式で表された曲線	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

令和2年度 数 学 科 シラバス (高等学校)

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学B	3	2年11組

使用教科書	副教材
数学B (数研出版) 数学III (数研出版)	サクシード 数学II+B, III (数研出版) はぎ取り式 練習ドリル数学B, III (数研出版) チャート式 基礎からの数学II+B, III (数研出版)

1. 学習の目標

ベクトルや数列, 複素数平面や式と曲線について理解し, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに, それらを活用する態度を育てる。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して, ベクトル, 数列, 複素数平面, 式と曲線の考えにおける考え方に興味をもつとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識し, それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して, ベクトル, 数列, 複素数平面, 式と曲線の考えにおける数学的な見方や考え方を身につけ, 事象を数学的にとらえ, 論理的に考察するとともに過程を振り返り多面的・発展的に考える。	ベクトル, 数列, 複素数平面, 式と曲線の考えにおいて, 事象を数学的に考察し, 表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ, 的確に問題を解決する。	ベクトル, 数列, 複素数平面, 式と曲線の考えにおける基本的な概念, 原理・法則, 用語・記号などを理解し, 基礎的な知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	6	【数学B】 7. ベクトル方程式	(4月5月は動画配信) 直線と方向ベクトル, 異なる2点を通る直線のベクトル方程式, 平面上の点の存在範囲, 直線と法線ベクトル, 円のベクトル方程式, 点と直線の距離, 点の存在範囲の図示	小テスト 提出物 等
	7	2章 空間のベクトル 1. 空間の座標 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形 7. 座標空間における図形	空間の点の座標, 2点間の距離 空間のベクトル, ベクトルの分解 ベクトルの成分, 成分によるベクトルの演算, 点の座標とベクトルの成分 一直線上の点, 同じ平面上にある点, 内積の利用, 座標空間における直線 線分の内分点・外分点の座標, 座標軸に垂直な平面の方程式, 球面の方程式, 平面の方程式, 直線の方程式	
2	9	3章 数列 1節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列とその和	等差数列, 等差数列の性質, 等差数列の和, いろいろな自然数の数列の和	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	10	3. 等比数列とその和 4. 和の記号Σ 5. 階差数列 6. いろいろな数列の和 2節 数学的帰納法 7. 漸化式と数列 8. 数学的帰納法	等比数列, 等比数列の和 累乗の和, 和の記号Σ, Σの性質 階差数列, 数列の和と一般項 和の求め方の工夫, 群数列 漸化式, 漸化式で定められる数列の一般項, 漸化式の応用, 確率と漸化式, 隣接3項間の漸化式, 2つの数列の漸化式 数学的帰納法による等式の証明, 数学的帰納法による整数の性質の証明, 数学的帰納法による不等式の証明, 漸化式と数学的	

3	11	【数学Ⅲ】	帰納法	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	12	第1章 複素数平面 1. 複素数平面	複素数平面, 複素数の実数倍, 複素数の加法減法, 共役な複素数, 絶対値と2点間の距離	
	1	2. 複素数の極形式と乗法, 除法 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形	極形式, 複素数の乗法除法, 複素数の積と商の図形的な意味 ド・モアブルの定理, n乗根, 線分の内分点外分点, 方程式の表す図形, 一般の点を中心とする回転, 半直線のなす角, $w=1/z$ が描く図形	
	2	第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線 6. 2次曲線の性質	放物線の方程式, y軸を軸とする放物線 楕円の方程式, 焦点がy軸上にある楕円, 円と楕円, 軌跡と楕円 双曲線の方程式, 焦点がy軸上にある双曲線, 直角双曲線 曲線の平行移動, $ax^2+by^2+cx+dy+e=0$ の表す図形 2次曲線と直線の共有点, 2次曲線の接線の方程式, 接線の方程式の一般形	授業態度 定期試験 小テスト 提出物 等
	3	第2節 媒介変数表示と極座標 7. 曲線の媒介変数表示 8. 極座標と極方程式 9. コンピュータといろいろな曲線	媒介変数表示, 直線群と媒介変数表示, 一般角を用いた円の媒介変数表示, 楕円の媒介変数表示, 双曲線の媒介変数表示, 媒介変数で表示された曲線の平行移動, サイクロイド, いろいろな曲線の媒介変数表示 極座標, 極座標と直交座標の関係, 極方程式, 2次曲線の極方程式 媒介変数で表された曲線, 極方程式で表された曲線	

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	物理	3	2年6組

使用教科書	副教材
物理基礎 (数研出版) 総合物理1 (数研出版)・総合物理2 (数研出版)	センサー物理基礎 (啓林館) センサー総合物理 (啓林館)

1. 学習の目標

物理は力学・熱・波を中心とした内容の授業を行う。
物理の問題を解く上での考え方や、解答の導き方などを、基礎的な内容を中心に問題演習を行いながら身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
意欲的な授業への参加、提出物を考慮して総合的に評価する。	問題演習を通して、解答のプロセスを重視し、提出物や授業内での質疑応答から評価する。	レポート提出などの課題を通して、内容をわかりやすくまとめられているかを評価する。	定期試験を中心に、小テストを実施し、授業の理解度を評価する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	運動の表し方 ・力と運動 平面内の運動	4月～5月までは授業動画を視聴 平面運動の速度・加速度 落体の運動	・提出物 ・小テスト
	5	運動の法則 ・剛体のつり合い	剛体に働く力のつり合い 剛体に働く力の合力と重心	
	6 7	力と運動 ・運動量の保存 ・円運動・万有引力	運動量と力積 運動量保存則 反発係数 等速円運動 慣性力 単振動 万有引力	・定期試験 ・小テスト ・提出物 ・授業態度
2	9	熱と気体 ・気体のエネルギーと状態変化	気体の法則 気体の分子運動 気体の状態変化	・定期試験 ・小テスト ・提出物 ・授業態度
	10	波 ・波の伝わり方 ・音の伝わり方	正弦波 波の伝わり方 音の伝わり方 音のドップラー効果	
	11	光	光の性質 レンズ 光の干渉と回折	
3	1	光	光の性質 レンズ 光の干渉と回折	・定期試験 ・小テスト ・提出物 ・授業態度
	2	電気と磁気	電場、電流、磁場	
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	物理	3	2年11組

使用教科書	副教材
物理基礎 (数研出版) 総合物理1 (数研出版)・総合物理2 (数研出版)	センサー物理基礎 (啓林館) センサー総合物理 (啓林館)

1. 学習の目標

物理の力学・熱・波・電磁気を中心とした内容の授業を行う。
物理の問題を解く上での考え方や、解答の導き方などを、基礎的な内容を中心に問題演習を行いながら身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
意欲的な授業への参加，提出物を考慮して総合的に評価する。	問題演習を通して，解答のプロセスを重視し，提出物や授業内での質疑応答から評価する。	レポート提出などの課題を通して，内容をわかりやすくまとめられているかを評価する。	定期試験を中心に，小テストを実施し，授業の理解度を評価する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	運動の法則 ・剛体にはたらく力のつり合い	4月～5月までは授業動画を視聴 剛体に働く力のつり合い 剛体に働く力の合力と重心	・提出物 ・小テスト
	5	力と運動 ・運動量の保存	運動量と力積 運動量保存則 反発係数	
	6	円運動と万有引力	等速円運動 慣性力 単振動 万有引力	・定期試験 ・小テスト ・提出物 ・授業態度
2	7	熱と気体 ・気体のエネルギーと状態変化	気体の法則 気体の分子運動 気体の状態変化	・定期試験 ・小テスト ・提出物 ・授業態度
	9	波 ・波の性質 ・音	正弦波 波の伝わり方 音の伝わり方 音のドップラー効果	
	10	・光	光の性質 レンズ 光の干渉と回折	
3	11	電気と磁気	電場・電流	・定期試験 ・小テスト ・提出物 ・授業態度
	1	電気と磁気	電流と磁場	
	2		電磁誘導と電磁波	
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	化学	3	2年6～8組

使用教科書	副教材
第一学習者 高等学校 改訂 化学基礎 第一学習社 高等学校 改訂 化学	第一学習社 セミナー化学基礎+化学 数研出版 フォトサイエンス化学図録

1. 学習の目標

化学的な事物・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。・化学の役割や物質の扱い方を理解するとともに、物質に対する関心を高め、物質を探究する方法を身に付ける。また、物質の構成粒子の、基本的な概念を理解し、物質について微視的な見方ができるようにする。物質に関する基本的な概念や法則を理解するとともに、それらを日常生活と関連付けて考察できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 思考・判断・表現	3. 観察・技能	4. 知識・理解
自然の物事・事象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験の基本操作を習得し、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5	第II章 物質の変化と平衡 第2節 電池・電気分解 ①電池 ②電気分解	電池の原理とおもな電池、水溶液の電気分解、電気分解における量的関係などを学習する。 YouTube を用いた反転学習を行う	定期テストの点数と平常点（提出物・小テスト・授業態度）を考慮して評価する。
		第I章 物質の状態 第1節 化学結合と結晶 第2節 物質の三態と熱運動 ②気体分子の熱運動と圧力 ③飽和蒸気圧と蒸気圧曲線 第3節 気体の性質 ①気体の体積変化 ②気体の状態方程式 ③理想気体と実在の気体	結晶の種類とそれぞれの一般的性質について理解する。 物質の三態とその変化、気体の圧力、気液平衡、飽和蒸気圧と蒸気圧曲線などを学習する。 温度、圧力、体積の条件変化における気体の体積変化、気体の状態方程式とその応用、理想気体と実在気体との違いを学習する。	
	6 7	第4節 溶液の性質 ①溶解と溶液 ③コロイド溶液物質とエネルギー ①反応熱と熱化学方程式 ②ヘスの法則 ③結合エネルギー ④化学反応と光	溶解のしくみ、固体・気体の溶解度、コロイド溶液などを学習する 化学変化とエネルギー、熱化学方程式のつくり方、ヘスの法則、結合エネルギーなどを学習する。	

2	9	②希薄溶液の性質 第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第3節 化学反応の速さ ①反応速度 ②反応の速さと濃度 ③反応の速さと温度 ④触媒	希薄溶液の性質における沸点上昇、凝固点降下、浸透圧を学習する。 反応速度の表し方、化学反応の速さと濃度・温度、活性化エネルギー、触媒などを学習する。	定期テストの点数と平常点（提出物・小テスト・授業態度）を考慮して評価する。
	10	第4節 化学平衡 ①可逆変化と平衡 ②平衡定数 ③平衡移動 第5節 電離平衡 ①電離平衡 ②弱酸・弱塩基の電離平衡 ③塩の性質と反応 ④緩衝液と緩衝作用 ⑤溶解度積	可逆変化と不可逆反応、平衡の意味、平衡状態の変化と平行移動、平衡定数などを学習する。 水の電離平衡、弱酸・弱塩基の電離平衡、pHについての理解、塩の加水分解、緩衝液、溶解度積などを学習する。	定期テストの点数と平常点（提出物・小テスト・授業態度）を考慮して評価する。
	11 12	第Ⅲ章 無機物質 第1節 非金属元素の単体と化合物 ①元素の分類と性質 ②水素 ③希ガス ④ハロゲン ⑤酸素・硫黄 ⑥窒素・リン ⑦炭素・ケイ素 第2節 典型金属元素の単体と化合物 ①アルカリ金属	元素の分類、水素、希ガス、ハロゲン、酸素、硫黄、窒素、リン、炭素、ケイ素とその化合物について、性質や用途を学習する。 アルカリ金属とその化合物について、性質や用途を学習する。	
3	1	② 2族元素 ③ 亜鉛・水銀 ④ アルミニウム ⑤ スズ・鉛 第3節 遷移金属元素とその化合物 ①遷移元素 ②鉄 ③銅 ④銀	2族元素、両性元素とその化合物について性質や用途を学習する。 遷移元素、鉄、銅とその化合物について、性質や用途を学習する。	定期テストの点数と平常点（提出物・小テスト・授業態度）を考慮して評価する。
	2 3	⑤クロム ⑥マンガン ⑦金属イオンの定性分析 第Ⅰ章 物質の状態 第1節 化学結合と結晶 ①化学結合と結晶の種類 ②金属結晶の構造 ③イオン結晶の構造 ④共有結合の結晶の構造 ⑥非晶質	銀、クロム、マンガンとその化合物について、性質や用途を学習する。 金属イオンの定性分析について学習する。 金属結晶、イオン結晶、共有結合の結晶、非晶質の構造や性質について学習する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	化学	3	高校2年11組

使用教科書	副教材
第一学習社 高等学校 化学基礎 第一学習社 高等学校 化学	第一学習社 セミナー化学基礎+化学 数研出版 フォトサイエンス化学図録

1. 学習の目標

化学的な事物・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。・化学の役割や物質の扱い方を理解するとともに、物質に対する関心を高め、物質を探究する方法を身に付ける。また、物質の構成粒子の、基本的な概念を理解し、物質について微視的な見方ができるようにする。物質に関する基本的な概念や法則を理解するとともに、それらを日常生活と関連付けて考察できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	化学的な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断する。	化学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察、実験などを通して化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5	第Ⅰ章 物質の状態 第1節 化学結合と結晶 第2節 物質の三態変化	結晶の種類とそれぞれの一般的性質について理解する。 YouTube を用いて反転学習を行う。	定期テストの点数と平常点（提出物・小テスト・授業態度）を考慮して評価する。
		第3節 気体の性質 ①気体の体積変化 ②気体の状態方程式 ③理想気体と実在気体	体積と圧力の関係性(ボイルの法則)を学習する。 体積と温度の関係性(シャルルの法則)を学習する。 体積と圧力・温度の関係性を学習する。 気体の状態方程式の概念、応用について学習する。 混合気体の圧力の仕組みについて学習する。 理想気体と実在気体の性質の違いについて学習する。	
	6 7	第4節 溶液の性質 第Ⅱ章 物質の平衡 第1節 物質とエネルギー 第3節 化学反応の速さ	飽和溶液と溶解平衡の関係性について学習する。 希薄溶液の性質についての温度変化などを学習する。 コロイド粒子の性質を学習する。 熱化学方程式作り方の習得、ヘスの法則を理解する。 反応速度及び反応速度式を理解する。	
2	9	第4節 化学平衡 (電離平衡含む)	化学反応における平衡現象について学習する。 水溶液中の電離による平衡から以下の内容を学習する。 (1) 塩の加水分解 (2) 緩衝溶液 (3) 溶解度積	定期テストの点数と平常点（提出物・小テスト・授業態度）を考慮して評価する。
	10	第Ⅲ章 無機物質 第1節 非金属元素の単体と化合物 ①元素の分類と性質 ②水素③希ガス ④ハロゲン	元素の分類を理解する。 水素、その化合物について性質や用途を学習する。 希ガスについて、性質や用途を学習する。 ハロゲンとその化合物について性質や用途を学習する。	

2	10	⑤酸素・硫黄 ⑥窒素・リン ⑦炭素・ケイ素	酸素、硫黄とその化合物について性質や用途を学習する。 窒素、リンとその化合物について性質や用途を学習する。 炭素、ケイ素とその化合物について性質や用途を学習する。	定期テストの点数と平常点（提出物・小テスト・授業態度）を考慮して評価する。
	11 12	第2節 金属元素の単体とその化合物 ①アルカリ金属 ②2族元素 ③両性元素・水銀	アルカリ金属とその化合物について性質や用途を学習する。 2族元素とその化合物について性質や用途を学習する。 両性元素の単体・水銀とその化合物について性質や用途を学習する。	
3	1	第3節 遷移元素の単体とその化合物 ①鉄 ②銅 ③銀 ④クロム・マンガン ⑤金属イオンの定性分析	銅、銀、鉄、クロム、マンガンとその化合物について性質や用途を学習する。 金属イオンの定性分析について学習する。	定期テストの点数と平常点（提出物・小テスト・授業態度）を考慮して評価する。
	2 3	IV章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴と構造 ①特徴と分類 ②化学式の決定 第2節 脂肪族炭化水素 ① アルカンとシクロアルカン ② アルケンとアルキン 第3節 酸素を含む脂肪族化合物 ①アルコールとエーテル ②アルデヒドとケトン ③カルボン酸とエステル ④油脂とセッケン	炭化水素や、官能基をもつ有機化合物の性質や反応性とその構造に特徴づけられることを見出す。 構造式からその性質や反応性を考察、判断する。 構造異性体の関係を理解し、知識を身に付ける。 代表的な官能基の性質に対する知識を身に付ける。 有機化合物の性質や反応性について、日常生活に関連付けて理解する。 官能基の性質に対する知識を身に付ける。 脂肪族炭化水素の性質や反応性、①と②の性質の相違を学習する。 酸素を含むことにより、性質の相違、反応性について学習する。 ①と②と③の関連性、④との関連性について学習する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理 科	生 物	3	2年7・8組

使用教科書	副教材
東京書籍「改訂生物」	第一学習社 「スクエア最新図説生物」 第一学習社 「セミナー 生物」

1. 学習の目標

1 生物の多様性を踏まえつつ、生物に共通する概念や原理・法則を理解する。 2 遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。 3 多様性と共通性という2つの視点から、生物や生命現象を探求する方法や姿勢を身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
・生物や生命現象に関心を持ち、主体的に探求する姿勢を身につけている。	・生物や生命現象を実証的・論理的に考え、科学的な判断をする。	・生物や生命現象に関する観察・実験技術を身に付けて、結果から出した考えを的確に表現することができる。	・生物や生命現象について基本的な概念や原理法則についての理解を深め、知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1編 生命現象と物質 1章 生物物質と細胞	細胞の構造とはたらきについて学習する。	定期試験（期末） 授業態度 （意欲・態度・発言など）、 実験レポート をもとに総合的に評価する。
	5	2章 タンパク質の構造と酵素 3章 細胞間の相互作用とタンパク質	タンパク質の構造や酵素としてはたらくタンパク質について学習する。 タンパク質のさまざまな働き（輸送・情報伝達・免疫・細胞接着）について学習する。	
	6	4章 代謝とエネルギー	⇒4・5月の内容は、動画で行う。 エネルギー変化と化学反応、呼吸・発酵と解糖・光合成・化学合成・窒素同化について学習する。	
2	9	2編 遺伝子のはたらき 1章 DNAの構造と複製	DNAの構造と複製について学習する。	
	10	2章 遺伝情報の発現 3章 遺伝子の発現調節	遺伝情報の流れ・転写翻訳のしくみ・遺伝情報の変化について学習する。 原核細胞と真核細胞の遺伝子発現調節・選択的遺伝子発現について学習する。	
	11	4章 バイオテクノロジー 3編 生殖と発生 1章 生物の有性生殖	目的の遺伝子を増やす・遺伝子の情報を読む・遺伝子を細胞に導入する・バイオテクノロジーの進展と課題について学習する。 有性生殖・染色体と遺伝子・減数分裂・減数分裂でもたらされる遺伝的多様性・遺伝子の連鎖と組み換え・遺伝現象との関連について学習する。	
3	1	2章 動物の発生	動物の配偶子形成・動物の受精・ウニとカエルの発生について学習する。	
	2	3章 動物の発生のしくみ 4章 植物の発生	動物の体軸とその決定・胚の細胞の発生運命と原腸形成、分化と誘導・動物に共通する形づくりのしくみ発生とゲノムについて学習する。 被子植物の生殖と胚発生・被子植物の器官分化について学習する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理 科	生 物	3	2年11組

使用教科書	副教材
東京書籍「改訂生物」	第一学習社 「スクエア最新図説生物」 第一学習社 「セミナー生物基礎+生物」

1. 学習の目標

<p>1 生物の多様性を踏まえつつ、生物に共通する概念や原理・法則を理解する。</p> <p>2 遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。</p> <p>3 多様性と共通性という2つの視点から、生物や生命現象を探求する方法や姿勢を身につける。</p>
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
・生物や生命現象に関心を持ち、主体的に探求する姿勢を身につけている。	・生物や生命現象を実証的・論理的に考え、科学的な判断をする。	・生物や生命現象に関する観察・実験技術を身に付けて、結果から出した考えを的確に表現することができる。	・生物や生命現象について基本的な概念や原理法則についての理解を深め、知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1編 生命現象と物質 1章 生物物質と細胞	細胞の構造とはたらきについて学習する。 4月の学習計画および学習内容については、動画で配信	定期試験（期末） 授業態度 （意欲・態度・発言など）、 実験レポート をもとに総合的に評価する。
		5	2章 タンパク質の構造と酵素 3章細胞間の相互作用とタンパク質	
	6		4章 代謝とエネルギー 2編 遺伝子のはたらき 1章 DNAの構造と複製	
		2	2章 遺伝情報の発現	
	9		3章 遺伝子の発現調節 4章 バイオテクノロジー	
		10	3編 生殖と発生 1章 生物の有性生殖	
11			2章 動物の発生	動物の配偶子形成・動物の受精・ウニとカエルの発生について学習する。
			3章 動物の発生のしくみ	動物の体軸とその決定・胚の細胞の発生運命と原腸形成、分化と誘導・動物に共通する形づくりのしくみ発生とゲノムについて学

2	12	4章 植物の発生	習する。 被子植物の生殖と胚発生・被子植物の器官分化について学習する。	定期試験（期末） 授業態度 （意欲・態度・発言 など）、 実験レポート をもとに総合的に評価 する。
3	1	4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容 と反応	刺激の受容から反応への情報の流れ・ニューロンの興奮・伝導と伝達・ 受容器・中枢神経系での情報処理・効果器について学習する。	
	2	2章 動物の行動	動物の行動について学習する。	
		3章 植物の環境応答	環境に応じた植物の一生と植物ホルモン・環境要因による成長等の調 節・ストレスに対する応答について学習する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合があります。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	物理	4	2年10組

使用教科書	副教材
物理基礎 (数研出版) 総合物理1 (数研出版)・総合物理2 (数研出版)	センサー物理基礎 (啓林館) センサー総合物理 (啓林館)

1. 学習の目標

物理の力学・熱・波・電磁気を中心とした内容の授業を行う。
物理の問題を解く上での考え方や、解答の導き方などを、基礎的な内容を中心に問題演習を行いながら身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
意欲的な授業への参加、提出物を考慮して総合的に評価する。	問題演習を通して、解答のプロセスを重視し、提出物や授業内での質疑応答から評価する。	レポート提出などの課題を通して、内容をわかりやすくまとめられているかを評価する。	定期試験を中心に、小テストを実施し、授業の理解度を評価する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	運動の法則 ・剛体にはたらく力のつり合い	4月～5月までは授業動画を視聴 剛体に働く力のつり合い 剛体に働く力の合力と重心	・提出物 ・小テスト
	5	力と運動 ・運動量の保存	運動量と力積 運動量保存則 反発係数	
	6	円運動と万有引力	等速円運動 慣性力 単振動 万有引力	・定期試験 ・小テスト ・提出物 ・授業態度
2	7	熱と気体 ・気体のエネルギーと状態変化	気体の法則 気体の分子運動 気体の状態変化	・定期試験 ・小テスト ・提出物 ・授業態度
	9	波 ・波の性質 ・音	正弦波 波の伝わり方 音の伝わり方 音のドップラー効果	
	10	・光	光の性質 レンズ 光の干渉と回折	
3	11	電気と磁気	電場・電流	・定期試験 ・小テスト ・提出物 ・授業態度
	1	電気と磁気	電流と磁場 電磁誘導と電磁波	
	2 3	原子	原子と光 原子と原子核	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	化学	4	高校2年10組

使用教科書	副教材
第一学習社 高等学校 化学基礎 第一学習社 高等学校 化学	第一学習社 セミナー化学基礎+化学 数研出版 フォトサイエンス化学図録

1. 学習の目標

化学的な事物・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。・化学の役割や物質の扱い方を理解するとともに、物質に対する関心を高め、物質を探究する方法を身に付ける。また、物質の構成粒子の、基本的な概念を理解し、物質について微視的な見方ができるようにする。物質に関する基本的な概念や法則を理解するとともに、それらを日常生活と関連付けて考察できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	化学的な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断する。	化学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察、実験などを通して化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5	第Ⅰ章 物質の状態 第1節 化学結合と結晶 第2節 物質の三態変化 第3節 気体の性質 ①気体の体積変化 ②気体の状態方程式 ③理想気体と実在気体	結晶の種類とそれぞれの一般的性質について理解する。 YouTubeによる反転学習を行う。 体積と圧力の関係性(ボイルの法則)を学習する。 体積と温度の関係性(シャルルの法則)を学習する。 体積と圧力・温度の関係性を学習する。 気体の状態方程式の概念、応用について学習する。 混合気体の圧力の仕組みについて学習する。 理想気体と実在気体の性質の違いについて学習する。	定期テストの点数と平常点(提出物・小テスト・授業態度)を考慮して評価する。
		第4節 溶液の性質	飽和溶液と溶解平衡の関係性について学習する。 希薄溶液の性質についての温度変化などを学習する。 コロイド粒子の性質を学習する。	
1	6 7	第Ⅱ章 物質の平衡 第1節 物質とエネルギー 第3節 化学反応の速さ 第4節 化学平衡 (電離平衡含む) =上記の演習=	熱化学方程式作り方の習得、ヘスの法則を理解する。 反応速度及び反応速度式を理解する。 化学反応における平衡現象について学習する。 水溶液中の電離による平衡から以下の内容を学習する。 (1) 塩の加水分解 (2) 緩衝溶液 (3) 溶解度積	定期テストの点数と平常点(提出物・小テスト・授業態度)を考慮して評価する。
		第Ⅲ章 無機物質 第1節 非金属元素の単体と化合物 ①元素の分類と性質 ②水素	元素の分類を理解する。 水素、その化合物について性質や用途を学習する。	
2	9	第Ⅲ章 無機物質 第1節 非金属元素の単体と化合物 ①元素の分類と性質 ②水素	元素の分類を理解する。 水素、その化合物について性質や用途を学習する。	定期テストの点数と平常点(提出物・小テスト・授業態度)を考慮して評価する。

2	9	③希ガス ④ハロゲン ⑤酸素・硫黄 ⑥窒素・リン ⑦炭素・ケイ素 =上記の演習=	希ガスについて、性質や用途を学習する。 ハロゲンとその化合物について性質や用途を学習する。 窒素、リンとその化合物について性質や用途を学習する。 炭素、ケイ素とその化合物について性質や用途を学習する。	定期テストの点数と平常点（提出物・小テスト・授業態度）を考慮して評価する。
		第2節 金属元素の単体とその化合物 ①アルカリ金属 ②2族元素 ③両性元素・水銀	アルカリ金属とその化合物について性質や用途を学習する。 2族元素とその化合物について性質や用途を学習する。 両性元素の単体・水銀とその化合物について性質や用途を学習する。	
	10	第3節 遷移元素の単体とその化合物 ①鉄 ②銅 ③銀 ④クロム・マンガン ⑤金属イオンの定性分析 =上記の演習=	銅、銀、鉄、クロム、マンガンとその化合物について性質や用途を学習する。 金属イオンの定性分析について学習する。	
3	11 12	IV章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴と構造 ①特徴と分類 ②化学式の決定 第2節 脂肪族炭化水素 ① アルカンとシクロアルカン ② アルケンとアルキン	炭化水素や、官能基をもつ有機化合物の性質や反応性がその構造に特徴づけられることを見出す。 構造式からその性質や反応性を考察、判断する。 構造異性体の関係を理解し、知識を身に付ける。 代表的な官能基の性質に対する知識を身に付ける。 有機化合物の性質や反応性について、日常生活に関連付けて理解する。 官能基の性質に対する知識を身に付ける。 脂肪族炭化水素の性質や反応性、①と②の性質の相違を学習する。	定期テストの点数と平常点（提出物・小テスト・授業態度）を考慮して評価する。
		1	第3節 酸素を含む脂肪族化合物 ①アルコールとエーテル ②アルデヒドとケトン ③カルボン酸とエステル ④油脂とセッケン =上記の演習=	
	2 3	第4節 芳香族化合物 ① 芳香族炭化水素 ② 酸素を含む芳香族化合物 ③ その他の原子を含む芳香族化合物 ④ 有機化合物の分離	芳香族化合物について、性質や反応性の相違を学習する。 また脂肪族化合物との相違についても学習する ① 芳香族炭化水素 ② フェノール類、芳香族カルボン酸 ③ 芳香族アミンとそれに付随する化合物 ④ 性質の相違を利用した分離方法を学習する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理 科	生 物	4	2年10組

使用教科書	副教材
東京書籍「改訂生物」	第一学習社 「スクエア最新図説生物」 第一学習社 「セミナー生物基礎+生物」

1. 学習の目標

<p>1 生物の多様性を踏まえつつ、生物に共通する概念や原理・法則を理解する。</p> <p>2 遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。</p> <p>3 多様性と共通性という2つの視点から、生物や生命現象を探求する方法や姿勢を身につける。</p>
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
・生物や生命現象に関心を持ち、主体的に探求する姿勢を身につけている。	・生物や生命現象を実証的・論理的に考え、科学的な判断をする。	・生物や生命現象に関する観察・実験技術を身に付けて、結果から出した考えを的確に表現することができる。	・生物や生命現象について基本的な概念や原理法則についての理解を深め、知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1編 生命現象と物質 1章 生物物質と細胞	細胞の構造とはたらきについて学習する。 4月の学習計画および学習内容については、動画で配信	定期試験（期末） 授業態度 （意欲・態度・発言など）、 実験レポート をもとに総合的に評価する。
	5	2章 タンパク質の構造と酵素 3章 細胞間の相互作用とタンパク質	タンパク質の構造や酵素としてはたらくタンパク質について学習する。 タンパク質のさまざまな働き（輸送・情報伝達・免疫・細胞接着）について学習する。 ⇒4、5月の学習計画および、学習内容は、NF-online classの授業動画で配信。	
	6	4章 代謝とエネルギー 2編 遺伝子のはたらき 1章 DNAの構造と複製	エネルギー変化と化学反応、呼吸・発酵と解糖・光合成・化学合成・窒素同化について学習する。 DNAの構造と複製について学習する。	
2	9	2章 遺伝情報の発現	遺伝情報の流れ・転写翻訳のしくみ・遺伝情報の変化について学習する。	
		3章 遺伝子の発現調節	原核細胞と真核細胞の遺伝子発現調節・選択的遺伝子発現について学習する。	
	10	4章 バイオテクノロジー	目的の遺伝子を増やす・遺伝子の情報を読む・遺伝子を細胞に導入する・バイオテクノロジーの進展と課題について学習する。	
		3編 生殖と発生 1章 生物の有性生殖	有性生殖・染色体と遺伝子・減数分裂・減数分裂でもたらされる遺伝的多様性・遺伝子の連鎖と組み換え・遺伝現象との関連について学習する。	
11	2章 動物の発生	動物の配偶子形成・動物の受精・ウニとカエルの発生について学習する。		
		3章 動物の発生のしくみ	動物の体軸とその決定・胚の細胞の発生運命と原腸形成、分化と誘導・動物に共通する形づくりのしくみ発生とゲノムについて学習する。	

2	12	4章 植物の発生	被子植物の生殖と胚発生・被子植物の器官分化について学習する。	定期試験（期末） 授業態度 （意欲・態度・発言 など）、 実験レポート をもとに総合的に評価 する。
3	1	4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容 と反応	刺激の受容から反応への情報の流れ・ニューロンの興奮・伝導と伝達・ 受容器・中枢神経系での情報処理・効果器について学習する。	
	2	2章 動物の行動	動物の行動について学習する。	
		3章 植物の環境応答	環境に応じた植物の一生と植物ホルモン・環境要因による成長等の調 節・ストレスに対する応答について学習する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合があります。

教科名	科目名	単位数	年・組
保健体育	体育	2	2年 全クラス

使用教科書	副教材
アクティブスポーツ (大修館書店)	健康手帳 (大修館書店)

1. 学習の目標

○心と体の成長 ○各種の運動に取り組むことで、生涯体育への意識を身につける ○安全面に配慮し、ケガや病気をせずに健康的な生活を送る習慣を身につける

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 思考・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
各種目の特性に感心をもち、互いに協力しながら積極的に練習に取り組み、運動に親しむことができる。	自己の能力に応じた課題の解決を目指し、安全面に配慮し、練習の方法を工夫することができる。	各種目の特性に応じた基礎的技術を身につけ、自己の能力に応じ、向上させることができる。	各種目の特性や学び方、合理的な練習法、競技や審判の方法を理解し、実践することができる。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	5			動画配信
	6	○体づくり運動 ・集団行動 ・スポーツテスト	・整列、行進、方向転換、列の増減、人員点呼、ラジオ体操 ・握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、持久走、50m走、ハンドボール投げ	・行動観察、出席状況 ・実技試験、正確性、協調性 ・記録測定
	7			
2	9	○体づくり運動 (体育祭練習) ・マスゲーム	・組体操、行進、集団演技 ・体育祭での発表	・行動観察、出席状況 ・実技試験 ・姿勢、スムーズな動作の習得、協力性
	11	○球技 I (選択) ・バドミントン ・サッカー	・個人技能 (サービス、各種ストローク) ・集団技能 (シングルス、ダブルスのコンビネーション) 試合 ・個人技能 (パス、ドリブル、シュート、リフティング) ・集団技能 (1対1、2対2、5対2、オフフェンス、ディフェンス等)	・行動観察、出席状況 ・実技試験、動きの習得 ・実技試験、基本技能の習得
	12	・ソフトボール	・簡易ゲーム、試合	

			<ul style="list-style-type: none"> ・個人技能（送球、投球、捕球、打撃、走塁） ・集団技能（シートバッティング、シートノック） 試合 	
3	1	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技 ・長距離走 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド周回コース ・記録測定 ・マラソン大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察、出席状況 ・記録、記録の向上 ・大会への参加、順位
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○球技Ⅱ（選択） ・ソフトテニス 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人技能（ストローク、ボレー、サービス、スマッシュ） ・ダブルスのコンビネーション等 ・簡易ゲーム、試合 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察、出席状況 ・実技試験、基本技能の習得
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドボール ・卓球 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人技能（パス、ドリブル、シュート） ・集団技能（3対2、3対3、オフENSE、ディフェンス等） ・簡易ゲーム、試合 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール理解、試合での活躍

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
保健体育	保健	1	2年 全クラス

使用教科書	副教材
「現代高等保健体育」 (大修館書店)	なし

1. 学習の目標

「健康」はいかに自分らしく、よりよく充実した生活を送るための重要な土台となる。健康を保持増進するために教育面、環境面の支援を組み合わせおこなうヘルスプロモーションが重要なことを理解する。また、実生活と照らし合わせながら学び、生涯を通じて、健康を自ら考え、適切に意志決定、行動選択ができるようにする。「一人一人がたった一回限りの貴重な人生を今生きている」ということを理解し、自分や他人の生命や生活を心から尊重し、それぞれの幸せを協力して実現しようとする態度を身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
健康・安全に関心を持つことができる。真摯な姿勢で授業にのぞみ、ノートを取り自らまとめる事ができる。	学習内容に対して常に疑問を持ち、日常生活に照らし合わせ自ら考え選択することができる。	積極的に質問や発言をすることができる。また自分やクラスメイトの意見を尊重して保健に向き合うことができる。	保健を身近な問題としてとらえ、正しい知識を持ち、実践することができる。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	5	2単元 生涯を通じる健康 1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> 思春期の体と心の健康について理解する。 男女差の性的欲求や、性行動について理解する。 健康な結婚生活をいとなむための留意点や、結婚生活の重要性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 動画配信
	6	4 妊娠・出産と健康 5 家族計画と人工妊娠中絶 6 加齢と健康	<ul style="list-style-type: none"> 受精・妊娠・出産の過程を理解し、健康に留意すべき点を説明できる。 家族計画の意義と避妊法、人工妊娠中絶の条件や女性に与える影響について理解する。 加齢に伴う心身の変化や中高期を健やかに過ごすための留意点を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物等 授業態度 学期末試験
	7	7 高齢者のための社会的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の健康問題や総合的対策について理解する。 	
2	9	8 保健制度とその活用 9 医療制度とその活用	<ul style="list-style-type: none"> 保健行政の役割やしきみ、保健サービスについて理解する。 医療保険のしきみを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物等 授業態度 学期末試験
	10	10 医薬品と健康 11 さまざまな保健活動や対策	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関の選び方や医療情報をひきだす方法を理解する。 健康づくりを支援するさまざまな保健活動について理解する。 	
		3単元 社会生活と健康 1 大気汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> 大気汚染の原因や起こり方、健康への影響を理解する。 	
	11	2 水質汚濁・土壌汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> 水質汚染の原因や起こり方、健康への影響を理解する。 土壌汚染の原因や起こり方、健康への影響を理解する。 	
	12	3 健康被害の防止と環境対策 4 環境衛生活動のしきみと働き	<ul style="list-style-type: none"> 環境汚染の防止・改善への対策を理解する。 ごみ処理の過程や、し尿・下水道の整備について理解する。 	

3	1	5 食品衛生活動のしくみと働き 6 食品と環境の保健と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全性確保について理解する。 ・安全な食品を確保し、環境を汚染しないために取り組むべき対策について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物等 ・授業態度 ・学年末試験
	2	7 働くことと健康 8 労働災害と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことと健康の相互影響について理解する。 ・労働災害の防止対策や職場の健康管理の必要性を理解する。 	
	3	9 健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> ・職場や日常生活での健康増進について理解する。 	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
英語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2年1組～8組

使用教科書	副教材
LANDMARK English Communication II (啓林館)	LANDMARK English Communication II WORKBOOK (啓林館) Listening Laboratory Standard B (数研出版) ACCEL READING 2 (啓林館) 新ユメタン 1 (アルク) (継続使用)

1. 学習の目標

<p>日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育くむ。具体的言語活動は次の通り。</p> <p>ア. 英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ. 英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>ウ. 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p> <p>エ. 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書く。</p>

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。	日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。	日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	副教材	評価方法
1	4	Lesson 1 I'm the Strongest!	・繰り返しを避けるための省略 ・過去完了進行形	【Listening Laboratory】 Unit 1-8	4月 5月は動画の配信、課題への取り組み
	5	Lesson 2 Tokyo's Seven-minute Miracle	・強調のための倒置 ・形式目的語の it		
	6	Lesson 3 Saint Bernard Dogs	・受動態の分詞構文 ・完了形の分詞構文		
	7	Lesson 4 Chanel's Style	・S + V + 分詞 / S + V + O + 分詞 ・付帯状況を表す with + O + C		
2	9	Lesson 5 Science of Love	・同格の that 節 ・疑問詞 + do you think (+ S) + V ?	【Listening Laboratory】 Unit 9-12	定期試験 授業態度 小テスト 提出物等
	10	Lesson 6 Gaudi and His Messenger	・関係副詞の限定用法 ・if 節を用いない仮定法		
	11	Lesson 7 Letters from a Battlefield	・譲歩を表す複合関係詞 ・動名詞の意味上の主語		
	12	Lesson 8 Edo: A Sustainable Society	・注意すべき関係代名詞の非制限用法 ・独立分詞構文		
3	1	Lesson 9 AI and Our Future	・as if [though] + 仮定法 ・助動詞 + have + 過去分詞	【Listening Laboratory】 Unit 17-20	定期試験 授業態度 小テスト 提出物等
	2	Lesson 10 Bhutan: A Happy Country	・強調構文 ・副詞節中の〈S + be〉の省略		
	3				

※4月5月は動画による授業

※ACCEL READING 2 及び新ユメタン1は朝学習・小テストや休暇中の宿題等に使用する。

上記の内容は、進度によって変更される場合がある

教科名	科目名	単位数	年・組
英語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2年9組～11組

使用教科書	副教材
LANDMARK English Communication II (啓林館)	Skill Builder 長文読解演習 入試標準編 (数研出版) Listening Laboratory Standard B (数研出版)

1. 学習の目標

<p>日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育む。具体的言語活動は次の通り。</p> <p>ア. 英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ. 英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>ウ. 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p> <p>エ. 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書く。</p>
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。	日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。	日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	副教材	評価方法
1	4	Lesson 1 I'm the Strongest!	・繰り返しを避けるための省略 ・過去完了進行形	【Skill Builder】 Lesson 1-3	4月 5月は動画の配信、課題への取り組み
	5	Lesson 2 Tokyo's Seven-minute Miracle	・強調のための倒置 ・形式目的語の it		
	6	Lesson 3 Saint Bernard Dogs	・受動態の分詞構文 ・完了形の分詞構文	【Skill Builder】 Lesson 4-6	
	7	Lesson 4 Chanel's Style	・S + V + 分詞 / S + V + O + 分詞 ・付帯状況を表す with + O + C	【Listening Laboratory】 Unit 1-8	
2	9	Lesson 5 Science of Love	・同格の that 節 ・疑問詞 + do you think (+ S) + V ?	【Skill Builder】 Lesson 7-9	定期試験 授業態度 小テスト 提出物等
	10	Lesson 6 Gaudi and His Messenger	・関係副詞の限定用法 ・if 節を用いない仮定法	【Listening Laboratory】 Unit 9-12	
	11	Lesson 7 Letters from a Battlefield	・譲歩を表す複合関係詞 ・動名詞の意味上の主語	【Skill Builder】 Lesson 10-12	
	12	Lesson 8 Edo: A Sustainable Society	・注意すべき関係代名詞の非制限用法 ・独立分詞構文	【Listening Laboratory】 Unit 13-16	
3	1	Lesson 9 AI and Our Future	・as if [though] + 仮定法 ・助動詞 + have + 過去分詞	【Skill Builder】 Lesson 13-15	定期試験 授業態度 小テスト 提出物等
	2	Lesson 10	・強調構文		
	3	Bhutan: A Happy Country	・副詞節中の〈S + be〉の省略	【Listening Laboratory】 Unit 17-20	

※ 4月5月は動画配信による授業

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある

教科名	科目名	単位数	年・組
英語	英語表現Ⅱ	3	2年1組～8組

使用教科書	副教材
DUALSCOPE English Expression II (数研出版)	DUALSCOPE English Grammar in 36 Stages (数研出版) (継続使用) DUALSCOPE 総合英語 (数研出版) (継続使用) DUALSCOPE 英語総合演習 (数研出版) Vintage 3rd Edition 英文法・語法 (いっずな書店) Vintage 文法編 準拠確認問題集 Canvas (1組) / Navigator (2組～8組) (いっずな書店)

1. 学習の目標

英文法の基本の確認と発展的な問題への取り組みにより実践的な英語力を身に着ける。
使用頻度の高い構文を用いて、英語を表現する力を要請する。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加することで、他者とのコミュニケーションを図ろうと努力しているか。	異文化の考え方、表現の違いを正しく判断し、それに対して正しく反応出来るか。	日常的な話題について、英語で聞いたり、読んだりして、相手が伝えようとする情報を理解し、発信することが出来るか。	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解しているか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	DUALSCOPE English Grammar in 36 Stages Lesson 30, 31	仮定法(1), (2)	4月5月は動画による授業
	5	DUALSCOPE 総合演習 LESSON1～LESSON6 Vintage3rd Edition 文法編 準拠確認問題集 第1章 第2章 第3章 第5章	時制 助動詞 不定詞 (1) 不定詞 (2)	
	6・7	DUALSCOPE 総合演習 LESSON7～LESSON8 Vintage3rd Edition 文法編 準拠確認問題集 第6章 第7章	動名詞 分詞	定期試験 授業態度 小テスト 提出物等
2	9	DUALSCOPE 総合演習 LESSON9～LESSON12 Vintage3rd Edition 文法編 準拠確認問題集 第4章 第8章 第11章	比較 関係詞 (1) 関係詞 (2) 仮定法	定期試験 授業態度 小テスト 提出物等
	10	DUALSCOPE 総合演習 LESSON13～LESSON14 Vintage3rd Edition 文法編 準拠確認問題集 Canvas 第14章 第15章 第16章	話法 否定・特殊構文	

	11 ・ 12	DUALSCOPE 総合演習 LESSON 1 5～LESSON 1 7 Vintage3 rd Edition 文法編 準拠確認問 題集 第9章 第10章	接続詞 前置詞・名詞・冠詞・代名詞 形容詞・副詞・群動詞	
3	1 ・ 2 ・ 3	Vintage3 rd Edition 文法編 準拠確認問 題集 第1 2章 第1 3章 1年のまとめ	主語と述語動詞の一致 疑問文 総合問題	定期試験 授業態度 小テスト 提出物等

※ 4月5月は動画による授業

※ DUALSCOPE English Expression II (数研出版) に関しては履修する文法項目に合わせたUNITを指定して課題・テスト等で使用する。

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
英語	英語表現Ⅱ	3	2年9組～11組

使用教科書	副教材
DUAL SCOPE English Expression II (数研出版) DUALSCOPE 英語総合演習 (数研出版) DUALSCOPE English Grammar 36 (数研出版)	Vintage 文法編 準拠確認問題集 Drive (いっずな書店) DUALSCOPE 総合英語 (数研出版) Vintage 英文法語法 (いっずな書店)

1. 学習の目標

- 英文法の基本の確認と発展的な問題への取り組みにより実践的な英語力を身に付け、英語で表現できるようになる。
- 既習の知識を定着させ、自らの英語力を充実したものにするために演習を重ね確認する。
- 「英語らしい英文」を書くのに必要な発想法や表現方法を身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
言語活動に関心を持ち、積極的な態度で参加することで、他者とのコミュニケーションを図ろうと努力する。	異文化の考え方、表現の違いを正しく判断し、対応する。場面や状況に応じた適切な表現を使うことができる。	日常的な話題について、英語で聞いたり、読んだりして、相手が伝えようとする情報を理解し、また発信することができる。	正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身につけるとともに、それを表現するのに必要な文化背景などを理解する。

3. 学習計画および学習内容等

期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5	DUALSCOPE English Grammar36 Lesson 30	仮定法(1)	定期試験 小テスト 提出物
		Lesson 31	仮定法(2)	
		DUALSCOPE 英語総合演習 Lesson 1	文の種類・組み立て	
		Lesson 2	時制	
		Lesson 3	助動詞	
		Lesson 4	動詞の態	
		Lesson 5	不定詞(1)	
		Lesson 6	不定詞(2)	
		Vintage Drive 第1, 2, 3, 5章	DUALSCOPE 英語総合演習と同範囲	
	Vintage 第1, 2, 3, 5章	DUALSCOPE 英語総合演習と同範囲		
	6 7	DUALSCOPE 英語総合演習 Lesson 7	動名詞	
		Lesson 8	分詞	
		Lesson 9	比較	
		Vintage Drive 第6, 7, 11章	DUALSCOPE 英語総合演習と同範囲	
Vintage Drive 第17章		動詞の語法		
Vintage 第6, 7, 11, 17章		DUALSCOPE 英語総合演習と同範囲		
Dual Scope English Expression II	Unit 1～13			
2	9 10	DUALSCOPE 英語総合演習 Lesson 10	関係詞(1)	定期試験 小テスト 提出物
		Lesson 11	関係詞(2)	
		Lesson 12	仮定法	
		Lesson 13	話法	
		Vintage Drive 第4, 8, 16章	DUALSCOPE 英語総合演習と同範囲	
		Vintage 第4, 8, 16章	DUALSCOPE 英語総合演習と同範囲	
		Dual Scope English Expression II	Unit 14～21	
	11 12	DUALSCOPE 英語総合演習 Lesson 14	否定・特殊構文	
		Lesson 15	接続詞	
		Lesson 16	前置詞・名詞・冠詞・代名詞	
		Lesson 17	形容詞・副詞・群動詞	
		Vintage Drive 第9, 10, 14, 15, 18～21章	DUALSCOPE 英語総合演習と同範囲	
		Vintage 第9, 10, 14, 15, 18～21章	DUALSCOPE 英語総合演習と同範囲	
Dual Scope English Expression II	Unit 22～27			

3	1	Vintage Drive 第12章	主語と述語動詞の一致	定期試験 小テスト 提出物
	2			
	3	第13章	疑問文	
		第22章	動詞を中心とするイディオム	
		第23章	形容詞・副詞を中心とするイディオム	
		第24章	名詞を中心とするイディオム	
		第25章	前置詞の働きをするイディオム	
		第26章	会話表現	
		第27章	語彙問題	
		第28章	重要多義語	
		Vintage 第12, 13, 22~28章	Vintage Driveと同範囲	
		Dual Scope English Expression II	Unit 28~34	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
家庭	家庭基礎	2	2年1組～11組

使用教科書	副教材
高校家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)	なし

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・健康を支えるには、日々の食生活が重要であることに気づき、栄養素などについて理解する。 ・調理や裁縫について、基礎・技術を身につける。 ・人間は、成長していく存在であることを知り、これからの人生や家族のありかたについて考える。 ・自分らしい充実した人生をつくるために必要な力を身に付けつける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
家庭、地域、自分の生活に関心をもち、その充実行動を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につける。	様々な分野で課題を見だし、その解決を目指して思考を深める。適切に判断し、工夫し、創造する能力を身につける。	生活を向上するために必要な、基礎的・基本的技術を身につける。	生活の意義や役割を理解し、充実向上するために必要な基礎的・基本的技術を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	基礎縫い	・基本的な裁縫技術を身につけ、雑巾を作成する。(動画配信)	作品
	5	自分らしい人生をつくる	・高校卒業後について、経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。(動画配信)	プリント、レポート
	6	食生活をつくる	・食事の役割について理解させる。 ・現代の食生活の問題点について、問題点を把握する。 ・栄養素の種類と機能について理解する。	プリント、試験
	7			
2	9	食生活をつくる	・栄養素について理解させる。 ・健康な食生活を送るには、どのような栄養素をどれくらい摂ればよいのかを知る。(栄養価計算)。 ・食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を学ぶ。 ・生涯を通じて健康で安全な食生活が営めるようになる。	プリント、試験
	10			
	11	調理の基礎	・食事様式ごとのマナーについて理解させる。 ・実習を通して、異なる食文化について学ぶ。	実習、プリント 試験
	12	経済生活を営む	・消費社会の現状と消費者の権利と責任について理解する。	プリント、試験
3	1	住生活をつくる	・住居の機能や間取りについて理解し、自立した住生活を営むための知識を得る。 ・安全性、快適性を考慮する必要性を理解する。	プリント、試験
	2	子どもと共に育つ	・子どもの育つ力、発達段階を知り、人生の初期における親・家族や周囲の人々との関わりの大切さを学ぶ。	プリント、試験
	3		・保育に関する実習を通し、保育の大変さや重要性を学ぶ。 ・子供を取りまく社会変化の現状について理解し、考える。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
総合的な学習の時間		1	2年全クラス

使用教科書	副教材
なし	Classi「ポートフォリオ」機能

1. 学習の目標

積極的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考える。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4			Classi「ポートフォリオ」への入力
	5			
	6			
	7	水泳球技大会	本校プール・体育館等にて、中学・高校全体の水泳球技大会を行う。(4時間)	
2	9			Classi「ポートフォリオ」への入力
	10	修学旅行	カナダのバンクーバー・ビクトリアに行き、現地校との学校間交流や国際理解教育等を目的とした修学旅行を行う。(13時間)	
	11	体育祭	本校NFグラウンドにて、中学・高校全体の体育祭を行う。(6時間)	
	12	日藤祭	クラスの催しやクラブ活動の発表・展示等を準備日も含め、3日間にかけて行う。(9時間)	
3	1	マラソン大会	「こどもの国」にてマラソン大会を行う。男子は6.4km、女子は4.0kmを走る。(3時間)	Classi「ポートフォリオ」への入力
	2			
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。